福井県における
外国人医療支援に関する報告書

外 国 人 医 療 支 援 検 討 委 員 会

（事務局　財団法人 福井県国際交流協会）

平成２４年５月

は　じ　め　に

福井県における外国人登録者数は、平成２３年末で約１万２千人となり、世界７０か国の人々が在留し、国籍別で見ると、中国が最も多く、次いで韓国・朝鮮、ブラジルとなっています。

本県においても、多様な文化を認め合い、日本人・外国人の双方が住みやすい社会を目指す、いわゆる多文化共生社会づくりに向けた取り組みが各分野において進められているところです。

しかしながら、医療現場における諸問題については、現場での対応に委ねられており、その状況についても詳しく分かっていないのが現状です。

そこで、当外国人医療支援検討委員会では、福井県における外国人を取り巻く医療の現状把握と課題等を探るため、医療機関と在住外国人の双方に対して、アンケート調査を実施するとともに、調査結果と提言等を整理し、報告書として取りまとめました。

各委員の皆様には、お忙しいところ、半年余、終始熱心に取り組むとともに、貴重な意見を承り、お礼を申し上げます。

また、アンケートの回答に御協力いただいた医療機関の皆様、在住外国人の皆様および関係機関の皆様にも、深くお礼を申し上げます。

今回のアンケート調査により、これまで把握できなかった県内における外国人を取り巻く医療の現状を浮き彫りにすることができたとともに、今後、取り組むべき方向性が見えてきました。

医療機関、行政、国際交流民間団体等や在住外国人、ボランティアの方々が、この報告書を活用され、医療環境の向上のために尽力されることを期待いたします。

平成２４年５月

外国人医療支援検討委員会

委員長　末　松　哲　男

目　　　次

Ⅰ　趣旨・目的等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

Ⅱ　検討委員会の開催　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

Ⅲ　調 査 概 要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

Ⅳ　調 査 結 果

１　医 療 機 関　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

２　在住外国人　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

Ⅴ　ま　と　め

１　アンケート調査結果について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

２　第３回検討委員会における主な意見　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

３　提　　　言　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

　　多言語リソース　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

資　料　編

１　アンケート調査用紙（医療機関用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

２　アンケート調査用紙（在住外国人用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

３　外国人医療支援検討委員会設置要綱　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65

４　第１回委員会資料（抜粋）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66

５　福井県外国人登録人員調査表（市町別）（平成23年12月31日現在）・・・・・ 72

６　福井県外国人登録人員調査表（在留資格別）（平成23年12月31日現在）・・ 73

Ⅰ　趣　旨・目　的　等

Ⅱ　検討委員会の開催

Ⅲ　調　　査　　概　　要

Ⅰ　趣旨・目的等

平成１９年度に、福井県と財団法人福井県国際交流協会で、県内在住外国人を対象に、日常生活で困っていることについてアンケートを実施したところ、日本語の会話について、約５割の人が「できる」、「だいたいできる」と回答した一方で、「役所での会話」、「病院での会話」といった普段聞き慣れない言葉や専門用語が出てくる場面では、「少し困っている」も含めると「困っている」と回答した人は５割を超えた。

福井県においても、多文化共生社会に向けて様々な取り組みがなされているところであるが、医療現場における諸問題については、現場での対応に委ねられており、その状況についても詳しくわかっていないのが現状である。

そのため、財団法人福井県国際交流協会は、福井県における外国人を取り巻く医療の現状把握と課題整理のため、医療機関と在住外国人の双方に対して、アンケート調査を実施し、取りまとめることとした。

アンケート調査の実施にあたっては、医療従事者、行政職員、住民、国際交流団体の職員等で構成する「外国人医療支援検討委員会」を立ち上げ、調査内容等を検討するとともに、調査結果を基にして、在住外国人が安心して医療サービスを受けることができる環境を整えるための方策を探ることとした。

Ⅱ　検討委員会の開催

１．日程と検討内容

【第１回検討委員会】

日　時：　平成２３年9月１６日（金）　１８：３０～２０：３０

場　所：　福井県国際交流会館　第１会議室

内　容：　①福井県に在住する外国人の状況および外国人を取り巻く医療の現状等
②福井県および他県における医療支援の取り組み事例
③委員の意見（現場の声）
④アンケート実施方法およびアンケート設問検討
⑤その他

【第２回検討委員会】

日　時：　平成２３年１０月７日（金）　１８：３０～２０：３０

場　所：　福井県国際交流会館　第１会議室

内　容：　①アンケート設問検討・決定
②その他

【第３回検討委員会】

日　時：　平成２４年3月２３日（金）　１８：３０～２０：３０

場　所：　福井県国際交流会館　第３会議室

内　容：　①アンケート集計結果報告

②委員会参画病院における外国人初診者数集計報告

③今後の取組み

④その他

２．検 討 委 員

末松　哲男（委員長、社団法人福井県医師会理事）

笠原　　章（武生医師会会員、東武内科外科クリニック院長、越前市国際交流協会長）

山内　高弘（福井大学医学部／附属病院　講師）

石田　　浩（福井県立病院　救命救急センター主任医長）

清水　紀子（福井県済生会病院看護部長）

塚原　健治（福井赤十字病院副院長）

杉田　博之（福井赤十字病院総務課長）

藤田　　明（ボランティア通訳・中国語）

大谷　テレジニア　喜代美（在住外国人・ブラジル出身）

井上　昭範（福井県観光振興課国際室長）

緒方　正嗣（福井県地域医療課長）

冨士　光恵（福井県福井健康福祉センター地域保健課長）

白﨑　義夫（財団法人福井県国際交流協会専務理事）

事務局：　財団法人福井県国際交流協会

Ⅲ　調 査 概 要

検討委員会での協議を経て、以下のとおりアンケート調査を実施した。

１．調 査 対 象

・医療機関（病院、診療所。歯科を除く。）

・県内に住む在住外国人。ただし、特別永住者（終戦前から日本に居住し、終戦後も引き続き居住している朝鮮半島・台湾出身者およびその子孫）を除く。

２．調 査 期 間

（１）医療機関

平成２３年１０月２５日（火）から１１月３０日（水）

（２）在住外国人

平成２３年１０月１６日（日）から１１月３０日（水）

３．調 査 方 法

（１）医療機関

・福井県医師会を通じて配布

（２）在住外国人

・市役所・町役場、市町国際交流協会、日本語ボランティア団体等に取りまとめを依頼

・留学生在籍機関、外国語指導助手所属機関等に依頼

・国際交流イベント、福井県国際交流会館等に来所する外国人に配布（面談）

（３）アンケートの言語（在住外国人用）

英語、中国語、ポルトガル語、ルビ付きやさしい日本語

４．回 収 結 果（配布数／回収数／回収率）

（１）医療機関

５６０部／１７０部／回収率３０．４％

（２）在住外国人

１，６００部／８３４部／回収率５２．１％

Ⅳ 調　査　結　果

1　医　療　機　関

Ⅳ　調 査 結 果

１．医 療 機 関

－調査結果の内容－

○回答機関について（Ｐ８～９）
１　回答機関名、回答者等（非公表）
２　回答機関の種類
３　回答機関の所在市町
４　外国語対応が可能な職種とその言語

○外国人患者について（Ｐ１０）
５　外国人患者数の傾向

○外国人患者の対応について（Ｐ１０～１２）
６　日本語のできない外国人患者の対応
７　外国人患者の対応で苦慮したり、不安に感じること
８　外国人患者が無保険で来院した場合の対応
９　外国人患者の対応で必要と感じる対策

○医療通訳について（Ｐ１３～１５）
10　医療通訳の必要性
11　医療通訳制度（有料）の利用
12　医療通訳制度におけるコーディネーター

○その他（Ｐ１５～１６）
13　職員に対する外国語研修や外国人患者の対応に関する研修の実施
14　福井県サイト「医療情報ネットふくい」（日本語・英語）について

○自由意見（Ｐ１７～１９）

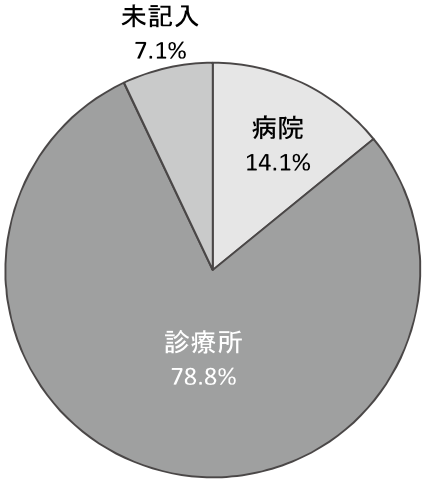
※項目により未記入や複数回答があるため、回答機関数と一致しないことがあります。

○回答機関について

1　回答機関名、回答者等（非公表）

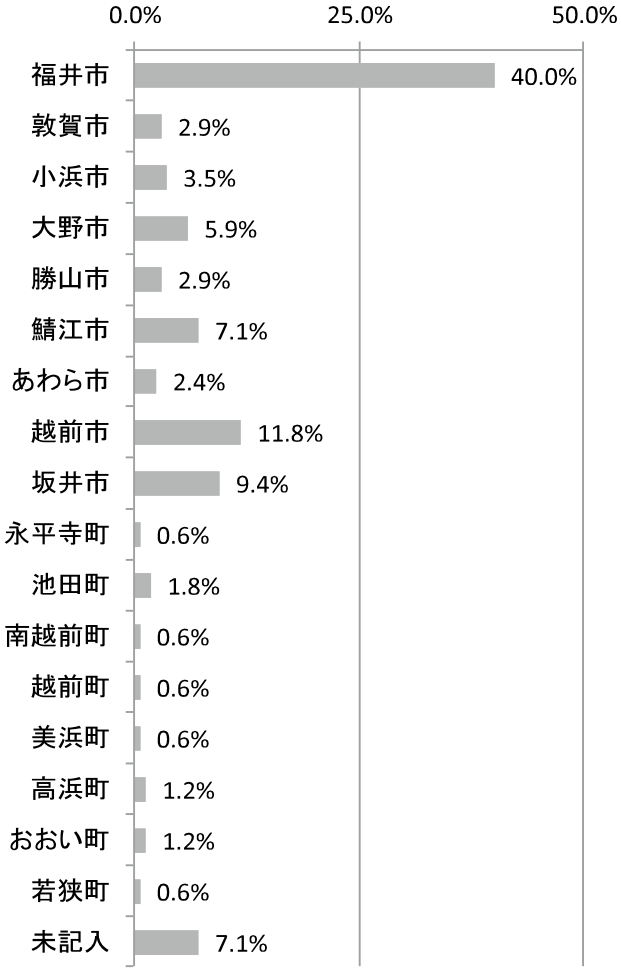
2　回答機関の種類

医療機関	回答数	割合
病院	24	14.1%
診療所	134	78.8%
未記入	12	7.1%
合計	170	100.0%



3　回答機関の所在市町

市町名	回答数	割合
福井市	68	40.0%
敦賀市	5	2.9%
小浜市	6	3.5%
大野市	10	5.9%
勝山市	5	2.9%
鯖江市	12	7.1%
あわら市	4	2.4%
越前市	20	11.8%
坂井市	16	9.4%
永平寺町	1	0.6%
池田町	3	1.8%
南越前町	1	0.6%
越前町	1	0.6%
美浜町	1	0.6%
高浜町	2	1.2%
おおい町	2	1.2%
若狭町	1	0.6%
未記入	12	7.1%
合計	170	100.0%



4 外国語対応が可能な職種とその言語

		英語	ドイツ語	中国語	韓国語	スペイン語	インドネシア語	タイ語	合計（職種別）
1	医　師	88	3	2	1	1	0	0	95
2	看護師	4	0	0	0	0	1	0	5
3	薬剤師	4	0	0	0	0	0	0	4
4	療法士等	4	0	1	0	0	0	0	5
5	ケースワーカー	0	0	0	0	0	0	0	0
6	事務職	12	0	0	0	0	0	0	12
7	医療通訳（雇用）	1	0	0	0	0	0	0	1
8	医療通訳（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ）	1	0	0	0	0	0	0	1
9	その他	1	0	0	1	0	0	1	3
	合計（言語別）	115	3	3	2	1	1	1	126

（その他の内容）

・診療所内歯科医師（英語、タイ語）　　・職員の家族（韓国語）

＜参考＞　外国人初診者数　（初めて受診券を作成した外国人患者数）

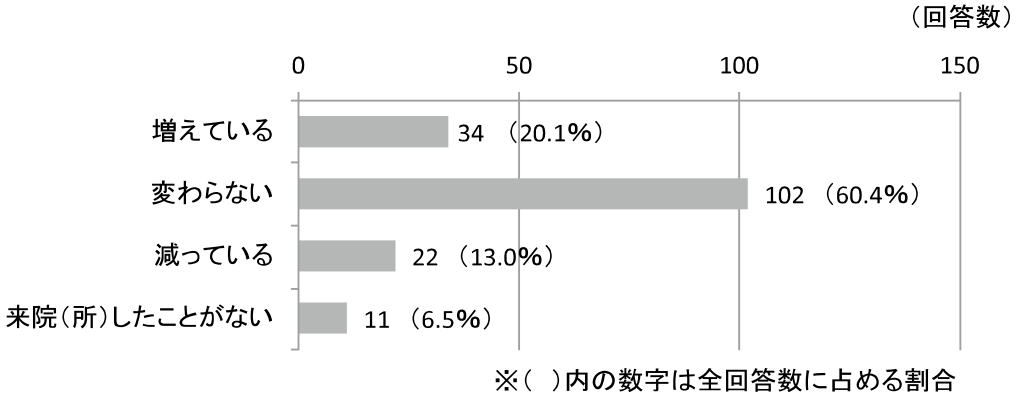
（期間：　平成 23 年 11 月 15 日（火）～平成 23 年 12 月 14 日（水）　1 ヵ月間）

	外国人患者が話した言語	病院 A	病院 B	病院 C	病院 D	合計（言語別）
1	中国語	0	8	2	3	13
2	ポルトガル語	0	0	1	1	2
3	英語	1	7	1	1	10
4	タガログ語	0	0	0	2	2
5	ハングル語	0	0	1	0	1
6	タイ語	0	1	0	0	1
	合計（病院別）	1	16	5	7	29

○外国人患者について

５　外国人患者数の傾向

外国人患者数について、「増えている」と回答したのは２０．１％であった。「変わらない」と回答したのは６０．４％、「減っている」と回答したのは１３．０％であった。

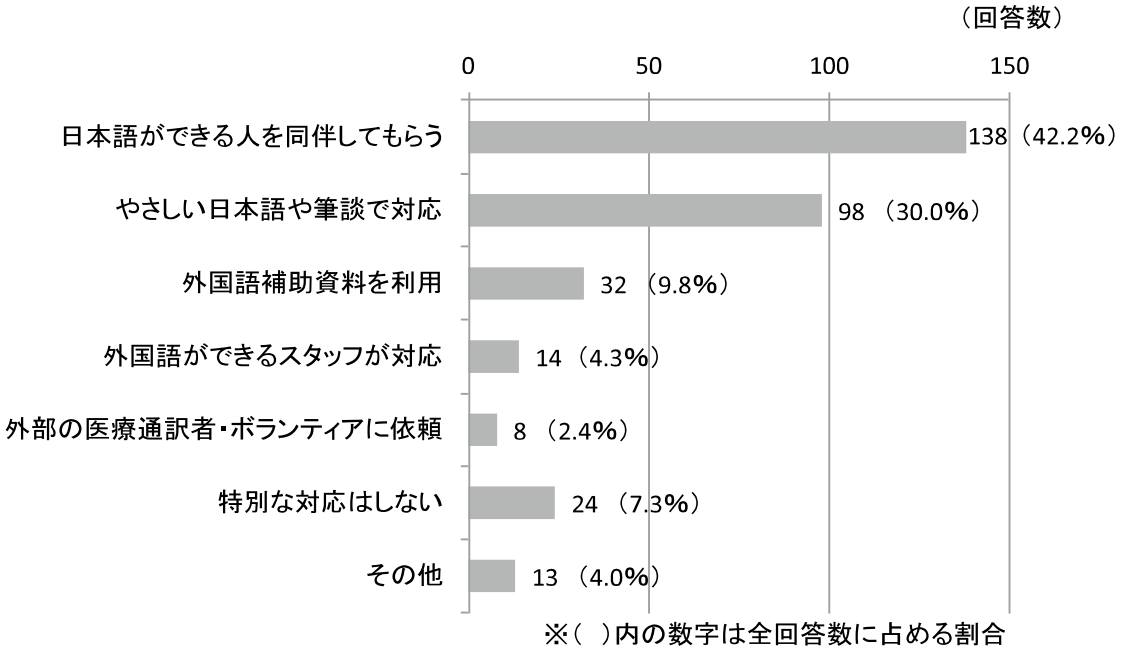


○外国人患者の対応について

６　日本語のできない外国人患者の対応（複数回答３つまで）

「日本語ができる人を同伴してもらう」が４２．２％と最も多く、次いで「やさしい日本語や筆談で対応」が３０．０％、「外国語補助資料を利用」は９．８％となった。

「外国語ができるスタッフが対応」は４．３％、「外部の医療通訳者・ボランティアに依頼」は２．４％と低かった。



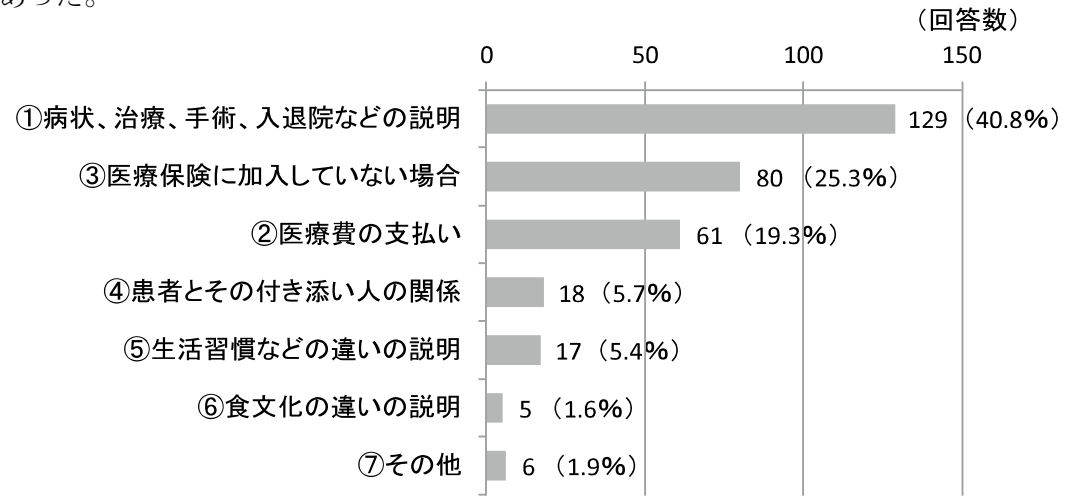
（その他の内容）
・日本語の出来ない方がいきなり一人で来ることはなく、たいがい通訳になる方が同行する。
・日本語の話せる方（患者）しか対応できない。
・身振り、手振り、筆談で対応

７　外国人患者の対応で苦慮したり、不安に感じること（複数回答３つまで）

「病状、治療、手術、入退院などの説明」が最も多く、４０.８％だった。

次いで、「医療保険に加入していない場合」が２５.３％、「医療費の支払い」が１９.３％と、医療費に関することも多かった。

また､｢生活習慣などの違いの説明｣および｢食文化の違いの説明｣があわせて７.０％あった。



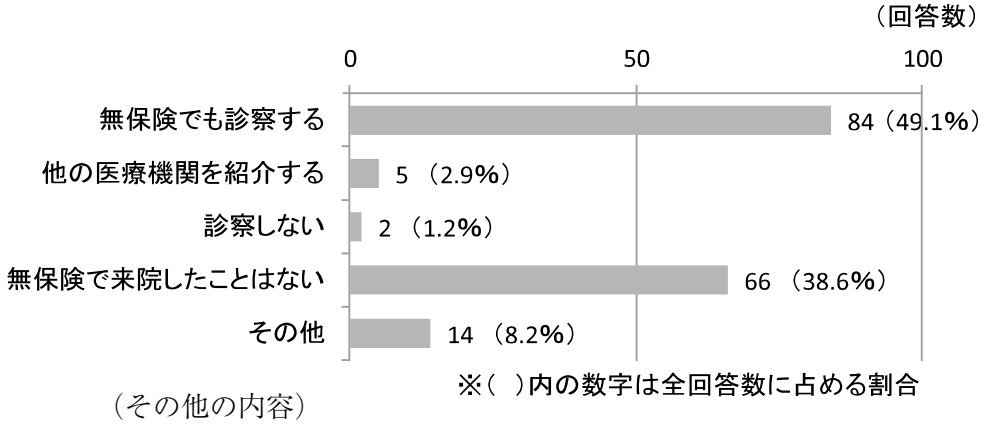
※１　数字①～⑦はアンケート選択肢の番号と一致する
※２　（　）内の数字は全回答数に占める割合

（その他の内容）
・薬の服用について
・英語の処方箋発行に時間を要する（電子カルテが対応していない)。
・費用を相談してその範囲内の診療費におさまるようにすることもある。
・主訴がはっきりわからない。
・こちらの説明を十分に理解できていない点

８　外国人患者が無保険で来院した場合の対応

「無保険でも診察する」が４９.１％と最も多かった。「他の医療機関を紹介する」は、２.９％、「診察しない」は、１.２％と少なかった。

また、「無保険で来院したことはない」と回答した機関が３８.６％あった。



※（　）内の数字は全回答数に占める割合

（その他の内容）
・自費等で払える場合は診療する。
・その方のバックグランドで、適宜考慮する。
・保証人の有無により判断する。
・雇用者が支払っている。

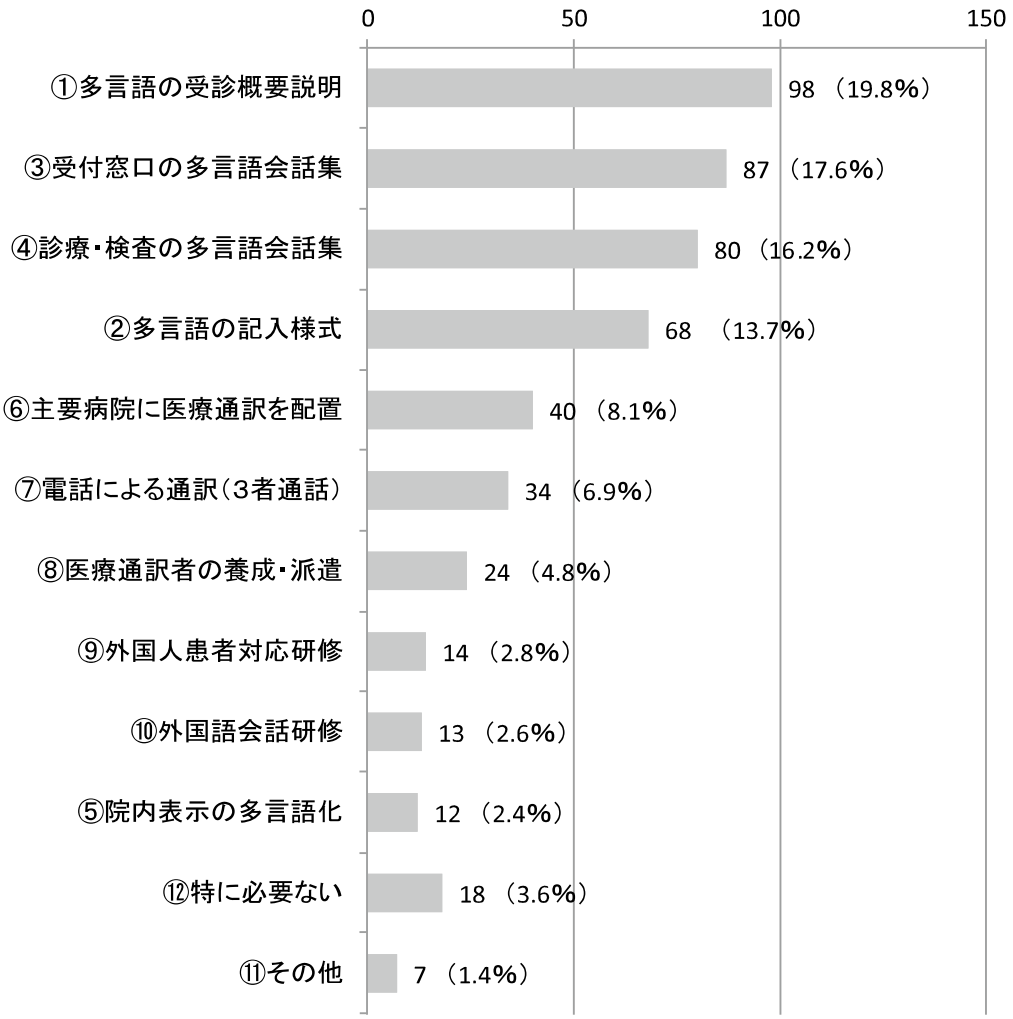
９　外国人患者の対応で必要と感じる対策　（複数回答５つまで）

「受付窓口の多言語会話集」および「診療・検査の多言語会話集」があわせて、３３．８％で、コミュニケーションをサポートする会話集の希望が多かった。

また、「多言語の受診概要説明」および「多言語の記入書式」をあわせると、３３．７％と、情報や様式の多言語化を希望する回答も多かった。

通訳については、「主要病院に医療通訳を配置」が８．１％と最も多く、次いで、「電話による通訳（３者通話）」が６．９％、「医療通訳者の養成・派遣」は４．８％であった。

（回答数）



※1　数字①～⑫はアンケート選択肢の番号と一致する
※2　（　）内の数字は全回答数に占める割合

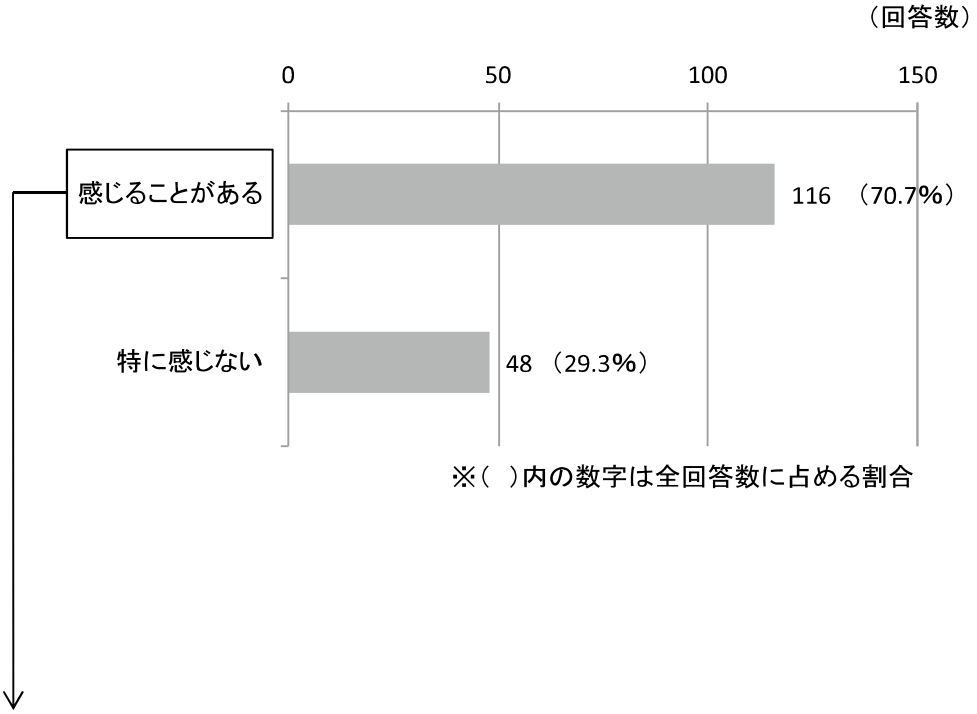
（その他の内容）
・外国人に対する病院へかかる場合の注意点などの研修
・インターネットを介したテレビ電話によるネイティブの医療関係者による通訳
・電話などによるサポートシステム
・同国人で日本語を話せる人との連携をもって来院するなど指導、啓蒙する。
・外国人が日本語を学ぶ。
・医療に限らず、日本語ができない在日外国人への生活全般をサポートする通訳者
・数カ所の病院にて診療を行う拠点病院をつくる。

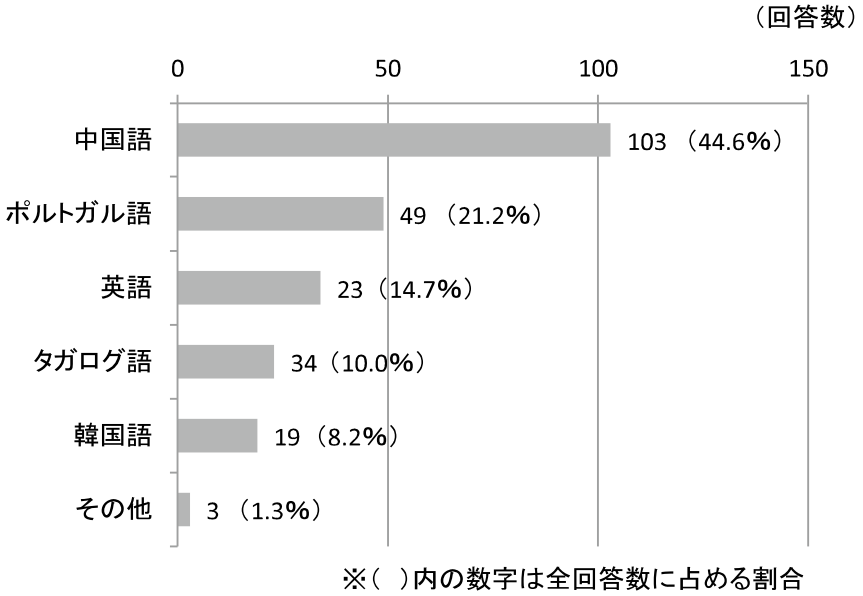
○医療通訳について

10　医療通訳の必要性

医療通訳の必要性について、「感じることがある」と回答したのは７０．７％あった。

必要とする言語としては、「中国語」が最も高く４４．６％であった。次いで、「ポルトガル語」２１．２％、英語１４．７％、タガログ語１０．０％となった。





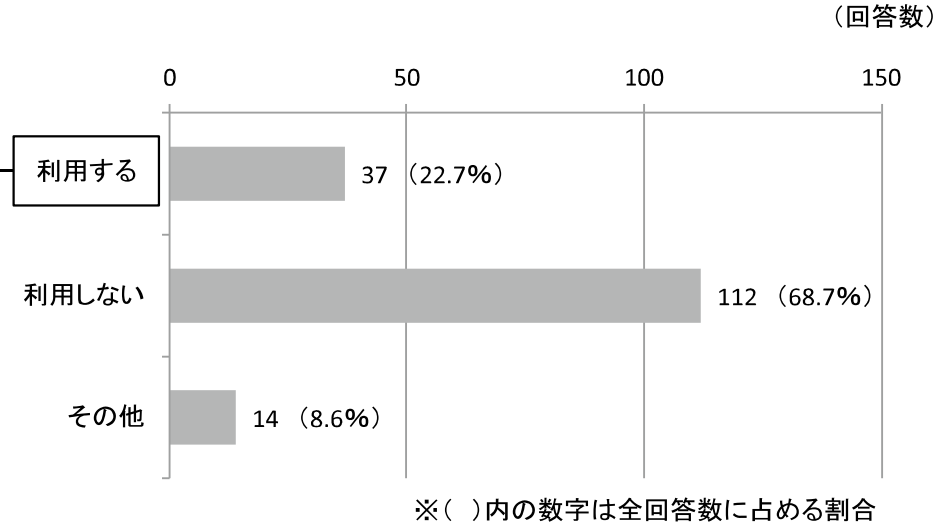
（その他の言語）

・スペイン語　　・タイ語　　・ベトナム語

11　医療通訳制度（有料）の利用

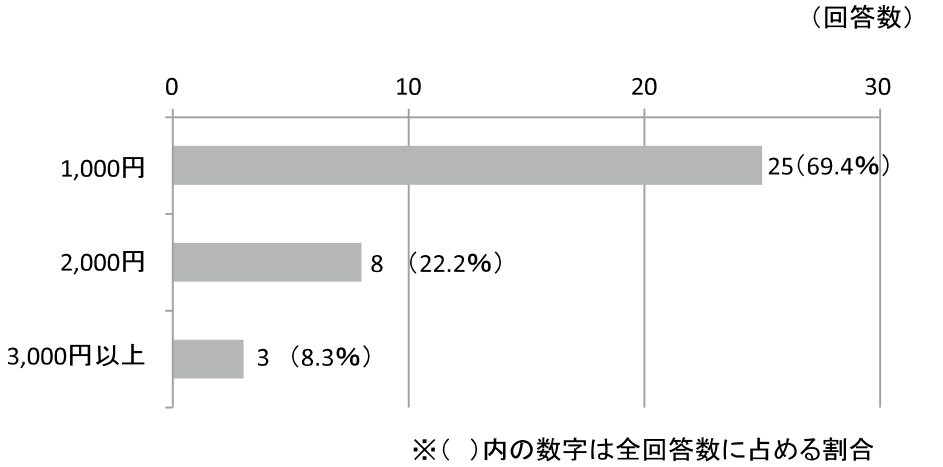
有料の医療通訳制度について、「利用しない」と回答したのが６８．７％で、「利用する」と回答したのは２２．７％だった。

１回あたりの経費負担については、１，０００円が最も多く６９．４％だった。



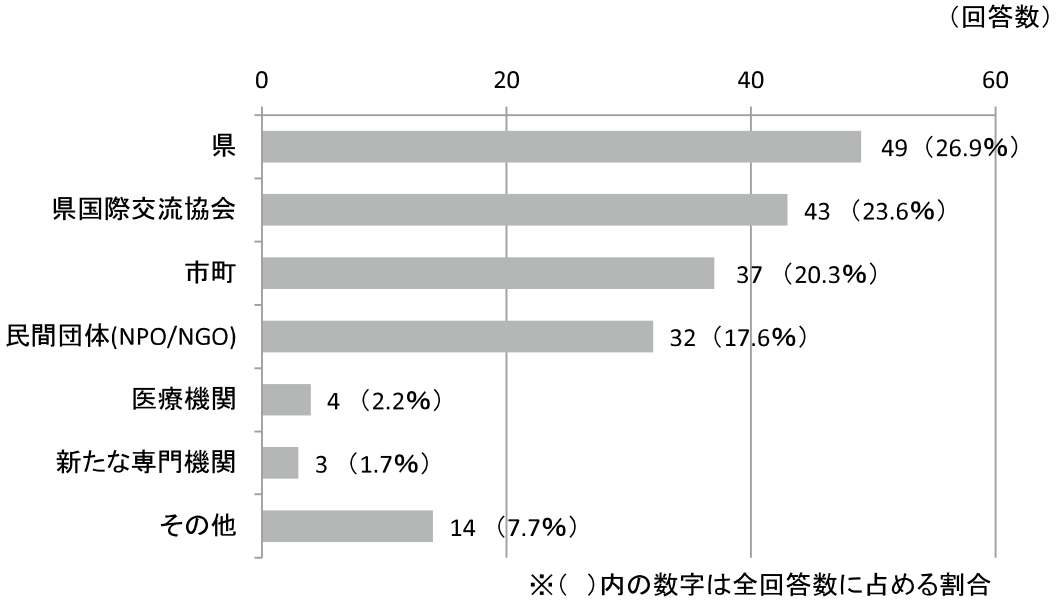
（その他の内容）
・利用時間が様々なので分からない。
・来院時すぐに対応できるのかどうか、利用方法による。
・ケースバイケースなので、すぐに答えられない。
・患者が個人的に利用すべきである。

１回当たりいくらが適当だと思いますか。



12　医療通訳制度におけるコーディネーター

医療通訳制度において、医療機関・患者・通訳の三者をコーディネートする機関については、県が２６．９％、県国際交流協会が２３．６％、市町が２０．３％、民間団体が１７．６％と、これら４つの機関に対する回答が多かった。

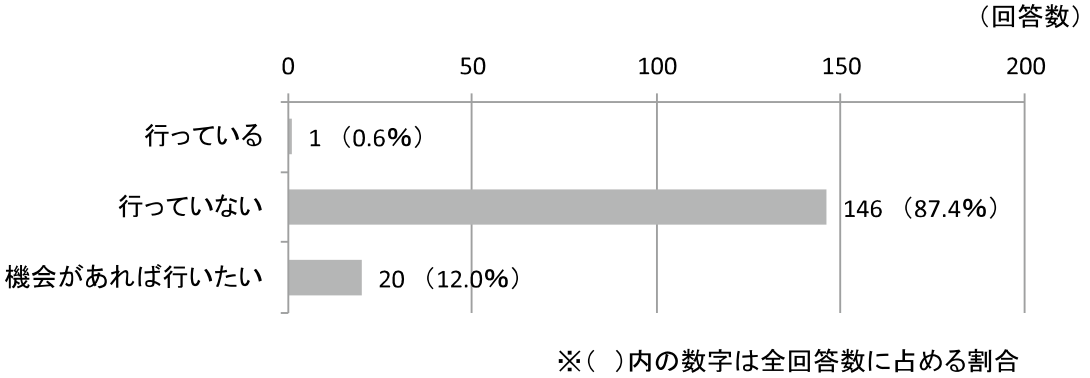


（その他の内容）
・県医師会
・市町の医師会
・県・市町・民間団体・福井県国際交流協会の連携、費用は県・市町
・その国の大使館
・各雇用主

◯その他

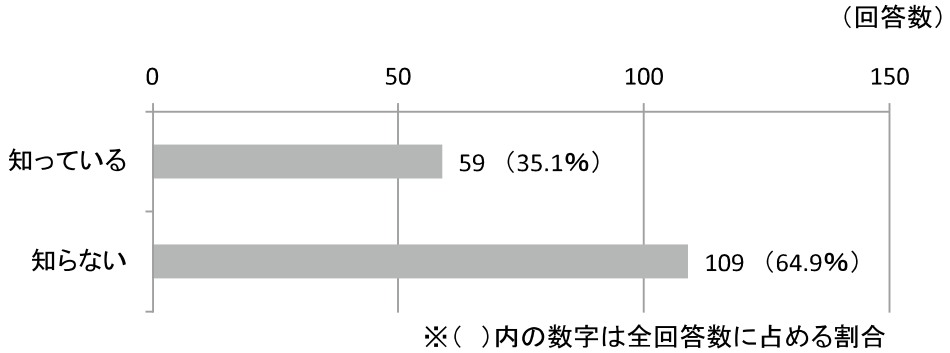
13　職員に対する外国語研修や外国人患者の対応に関する研修の実施

職員に対する研修は、実施していない機関がほとんどである。しかし、その内、１２．０％の機関では、機会があれば研修の機会を希望している。



14　福井県サイト「医療情報ネットふくい」（日本語・英語）について

福井県が運営するサイト「医療情報ネット」について、「知っている」と回答したのが３５．１％であったのに対し、「知らない」と回答したのは６４．９％であった。



※医療情報ネットふくい

所在市町や診療科目等の条件を指定して、医療機関・薬局を検索することができるインターネットホームページ。英語サイトでは、外国語で対応可能な医療機関も検索できる。

アドレス　http://www.qq.pref.fukui.jp/qqport/kenmintop/

○　自由意見

コミュニケーション

○英語では何とか会話が可能であるが、専門用語は英語でも通じず苦慮することがある。中国語は漢字の筆談が多少助けにはなるがやはり困難である。ポルトガル語等はお手上げ。

○英語以外の言語を母国語とする母親に、子どもの症状や治療について説明をするのに苦労する。

○南米の方で、日本語に慣れていない人はコミュニケーションが難しい。

○ブラジルからの方はポルトガル語のみで英語が通じない時がある。中国の方も、英語が通じず、漢字と図で説明している。

○中国人でも英語を話すことができると助かる。

○中国の研修生の方で、部位は指差すとわかるが、痛いのか、かゆいのか、歩けないのかがわからない。

○できる限りわかり易い言葉で、ゆっくりと身ぶりも含めて説明するよう努めているが、日本人に対して日本語で説明したとしても、かなり理解していただくのが困難な内容まで、詳しい説明を求められ、また理解できない場合に納得してもらえない傾向が日本人より多いように思われ、医療現場では困窮する場面がある。

○予診をとるとき、患者の意図が分からなく会話が成立しない不安がある。詳細について伝わっているのかどうか不安である。

○英語会話と筆談（特に漢字）と身振り手振りで対応している。中国人、フィリピン人、インドネシア人等は小浜にも多く来ている。

通　訳

○たとえ通訳がいたとしても微妙なニュアンスを伝えきるのはむずかしい。日本人に対して日本語で話しても誤解をすることがあるので、ましてや外国人はと思ってしまう。説明に対して理解していないのではと思うことがある。

○周りのサポートがなく単身で来院した際に困る。ボランティアなので仕方がないが、診察の際に通訳ボランティアさんが来られない時に困った。

○中国やブラジルの方は通訳がいないと診療に苦労する。中国の方はまだ筆談も可能だが、ブラジルの方は困難を感じる。

○通訳の方が来られていても、はたして正確な通訳がなされているか、大変不安になることがある。詳しい説明を求められて、できるだけ易しく話しても、医学関連用語の通訳が全くできないような場合もある。簡単な風邪のような場合はよいが、きちんと服薬の継続が必要であったり、後々病院への受診が必要であったりで、その旨説明しても、なかなか理解してもらえない場合があり、コンプライアンスもよくないように思う。

○英語または漢字の筆談が成立しない人は、受診の際は緊急でなければ、通訳役の方が必要と思われる。意思が伝わらないと、重大なことも発生しかねない。

○日本語のある程度わかる親戚や友人と来院される方が多いが、病状が複雑になると通訳の方が必要になると思う。

○英語が通じればなんとかなる。困るのは英語も日本語もわからない場合である。

○中国語のニーズが一番多い。

多言語資料

○筆談でなんとかなるが、中国人が多く、英語程慣れていないので、資料があれば助かる。
○日本語ができる方の付き添いと多言語版資料があれば、殆どのケースは対応できると思う。
○ずいぶん前に発行された多言語の冊子を今でも時々利用するが、多言語である分、各言語については、内容が浅く、結局、診療時の通訳をする時に間に合わない事が多い。現場の声を汲み取ったものを作っていただけるとありがたい。
○診療用の多言語版資料、医療会話集を作成、配布して欲しい。

受入可能な病院を整備

○大都市と違って福井県にいる外国人の数はしれているので、国公立の病院で外国人を一手にひき受けてほしいです。
○受け入れられる医療機関を県立病院内に作れば良いと思う。
○公的病院で外国の方を対応する様にすべき。
○すべての医療機関が外国語をマスターする必要はない。一般的な治療で良くならなければ基幹病院へ紹介すればよい（そこには通訳スタッフがいると良い）。

支払い・保険

○支払いはしっかりして欲しい。国民健康保険には全員加入して欲しい。
○発展途上国の人に多いが、自己負担を相談しながら検査治療方針を立てなければならない。
○保険に入ってない方の診療は点数をできるだけつけないようにして、診療費がかからないようにしているが、できるだけ保険に加入してほしい。
○平成１７年まで時間外診療する場合、預り金なしで対応していたところ外国人の未収金が多く未だ入金されてない。（後年、集金の際に行方不明、転居先不明ばかりであった）
○無保険の外国人患者の対応の仕方が分からない。人道的には無料で診療して、後で医療機関が市町村へ請求するシステムを作るべきと思う。
○無保険なのに会社で入っているといって受診する。会社で働いていれば、保険に入っていると思いこんでいる場合がある。

日本語・生活習慣・文化・その他

○十分に日本語を勉強して日本に来てほしい。または、日本に来て日本語を修得したい人が来るべきと思う。
○やはりコミュニケーションと生活習慣を理解してもらうことに難しさを感じる。
○中国の文化と日本人のとり方の違い。中国人からトラブルにまき込まれないための心得が必要である。
○医療機関側がコストを負担して通訳制度を導入するのは疑問である。恩恵を受ける外国人側で、コストを負担するのが正論なのではないか。
○外国人の診察は１人あたりの診療時間が長くなり、他の患者さんの待ち時間が長くなる。
○感染系の病気を疑う方が来院したことがあり、母国での医療の状況がわからないので、こちらも不安になった。

あまり困っていない

○中国人が多いが、派遣会社の担当者が付添ってくることがほとんどで特に不自由な事はない。付添えない場合は、３者通話（担当者）で対応している。

○英語ができる人か、できない場合は中国人で、その場合は会社の方が一緒に来られるので、不自由はない。

○受け入れした例がほとんどない。ただ、受け入れとなると、言語の問題があると思うので、通訳は必要に感じる。

○ほとんど来たことがないのであまり考えたことがない。

Ⅳ 調　査　結　果

2　在住外国人

２．在住外国人

－調査結果の内容－

○回答者自身について（Ｐ２２～２４）

1　出身国・地域
2　居住地
3　性別
4　年代
5　滞在年数
6　在留資格
7　日本語能力
8　加入している保険

○病院・診療所の情報入手について（Ｐ２５）

9　病院・診療所情報の入手先

○病気になったときについて（Ｐ２５～２６）

10　自分や家族・友人の健康について
11　病気になったときの対応

○薬について（Ｐ２７）

12　薬の入手方法
13　処方薬または市販薬を買う際、説明で使われた言語

○医療機関での受診について（Ｐ２８～３１）

14　福井県の病院・診療所における受診回数（過去１年）
15　病院・診療所で話した言語
16　病院・診療所に行った時の同伴者
17　病院に行ったときに、特に困ったことや不安を感じたこと
18　希望する医療サービス

○医療費について（Ｐ３１）

19　病院でお金を払うときに困ったこと

○医療通訳制度について（Ｐ３２）

20　制度の利用について
21　制度利用の際の負担額

○自由意見（Ｐ３３～３７）

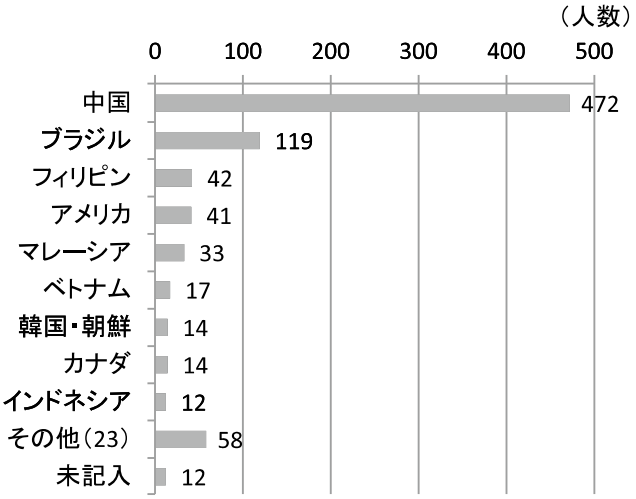
※項目により未記入や複数回答があるため、回答者数と一致しないことがあります。

○回答者自身について

1　出身国・地域

国・地域	人数	割合
中国	472	56.6%
ブラジル	119	14.3%
フィリピン	42	5.0%
アメリカ	41	4.9%
マレーシア	33	4.0%
ベトナム	17	2.0%
韓国・朝鮮	14	1.7%
カナダ	14	1.7%
インドネシア	12	1.4%
その他(23)	58	7.0%
未記入	12	1.4%
合計	834	100.0%

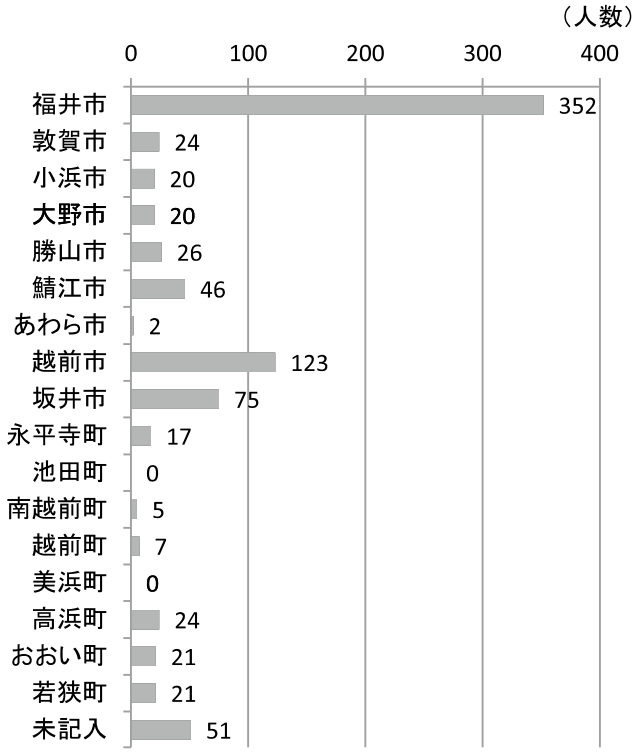
（計32ヵ国）



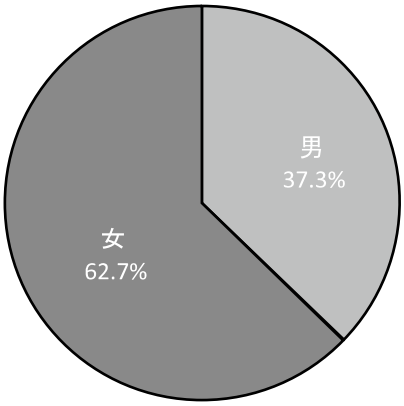
（その他の国・地域）
ペルー（８）、タイ（７）、オーストラリア（５）、イギリス（４）、南アフリカ（４）
台湾（３）、ニュージーランド（３）、バングラディシュ（３）
アイルランド（２）、ドイツ（２）、フランス（２）、ミャンマー（２）、モンゴル（２）、ラオス（２）
ロシア（１）、アルゼンチン（１）、インド（１）、ウガンダ（１）、カザフスタン（１）
ジャマイカ（１）、ポルトガル（１）、南アフリカ（１）、メキシコ（１）

2　居住地

市町	人数	割合
福井市	352	42.2%
敦賀市	24	2.9%
小浜市	20	2.4%
大野市	20	2.4%
勝山市	26	3.1%
鯖江市	46	5.5%
あわら市	2	0.2%
越前市	123	14.8%
坂井市	75	9.0%
永平寺町	17	2.0%
池田町	0	0.0%
南越前町	5	0.6%
越前町	7	0.8%
美浜町	0	0.0%
高浜町	24	2.9%
おおい町	21	2.5%
若狭町	21	2.5%
未記入	51	6.1%
合計	834	100.0%

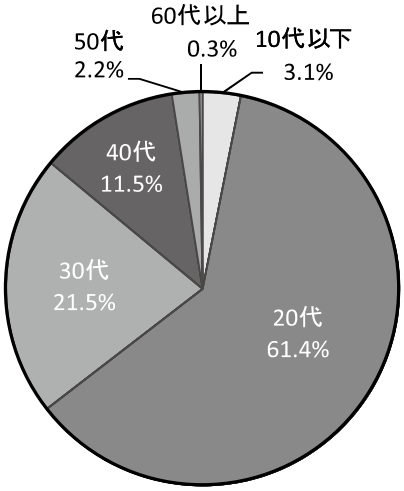


3　性　別



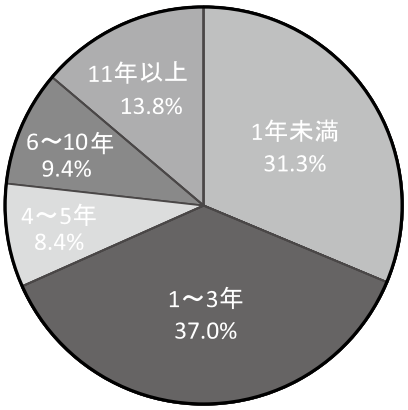
性別	人数	割合
男	300	37.3%
女	505	62.7%
合計	805	100.0%

4　年　代



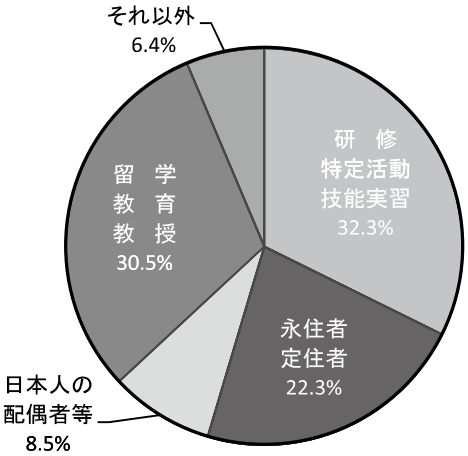
年代	人数	割合
10代以下	25	3.1%
20代	492	61.4%
30代	172	21.5%
40代	92	11.5%
50代	18	2.2%
60代以上	2	0.3%
合計	801	100.0%

5　滞在年数



滞在年数	人数	割合
1年未満	256	31.3%
1～3年	303	37.0%
4～5年	69	8.4%
6～10年	77	9.4%
11年以上	113	13.8%
合計	818	100.0%

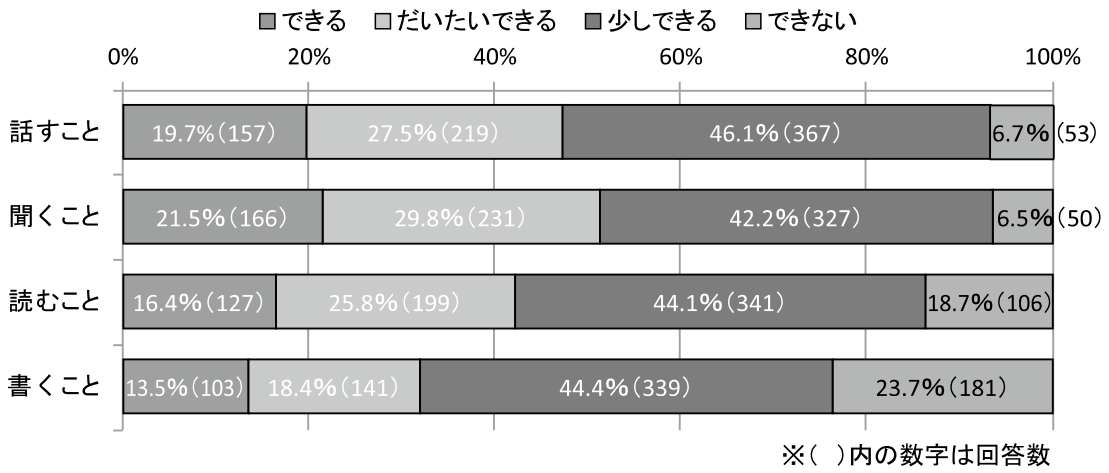
6　在留資格



在留資格	人数	割合
研修、特定活動、技能実習	259	32.3%
永住者、定住者	179	22.3%
日本人の配偶者等	68	8.5%
留学、教育、教授	245	30.5%
それ以外の在留資格	51	6.4%
合計	802	100.0%

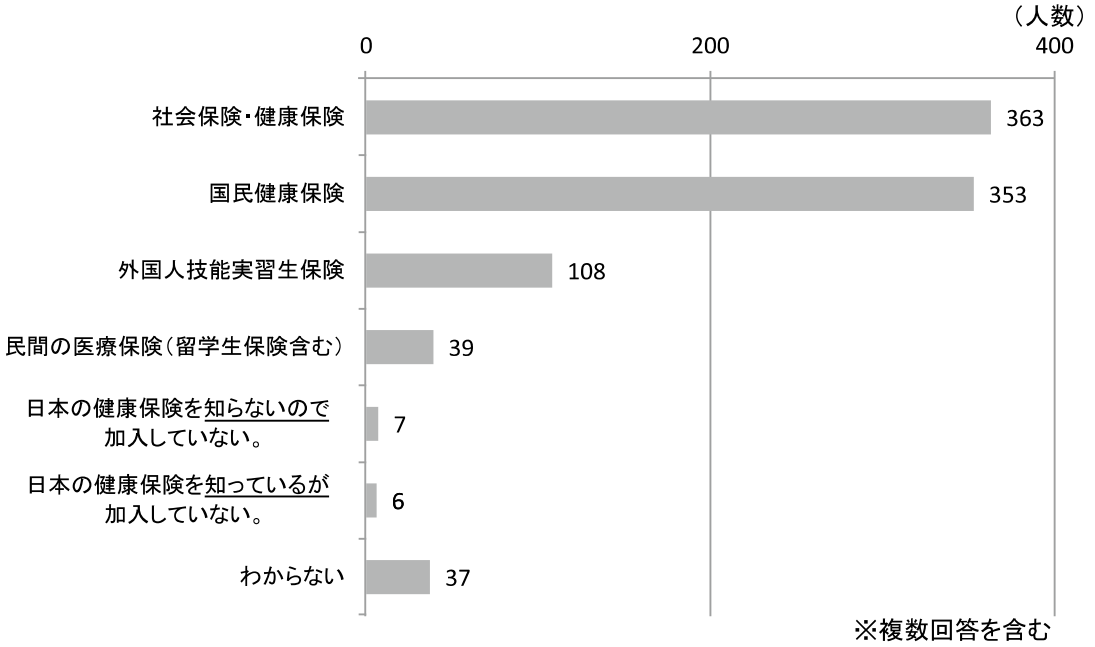
7　日本語能力

話すこと・聞くことについて、「できる」、「だいたいできる」と答えた人は、約５０％で、約半数の人が日常会話に不自由を感じている。「読むこと」については、「できる」、「だいたいできる」と回答した人が４２％、書くことについては３２％となった。６割から７割の人が日本語で書かれた情報が分からない状況となっている。



8　加入している保険

９０％以上の人が何らかの保険に加入しているが、わからないと回答している人が４％いる。

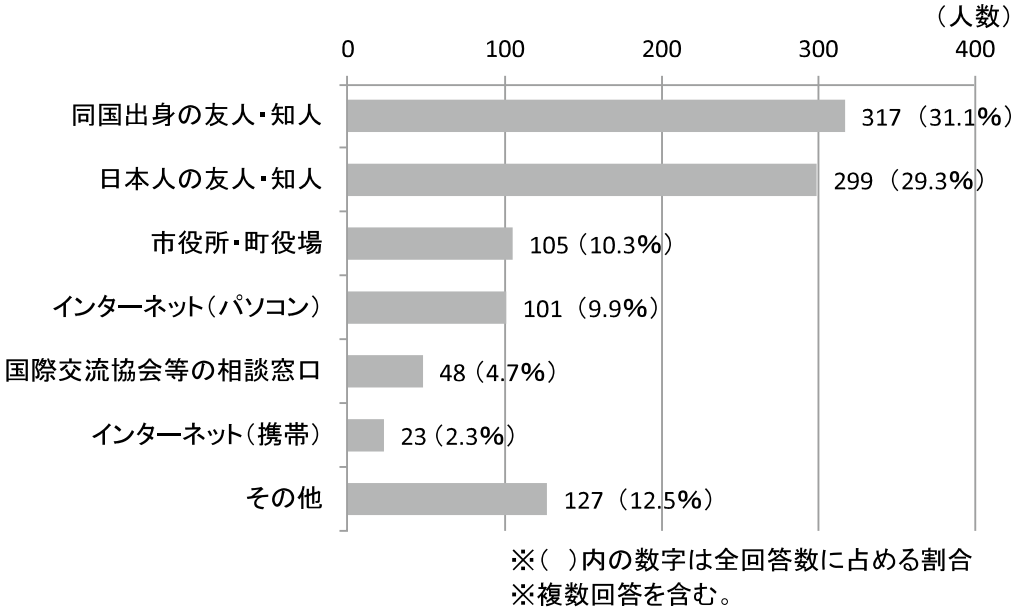


項目	人数	割合
社会保険・健康保険	363	39.8%
国民健康保険	353	38.7%
外国人技能実習生保険	108	11.8%
民間の医療保険（留学生保険含む）	39	4.3%
日本の健康保険を知らないので、加入していない。	7	0.8%
日本の健康保険を知っているが、加入していない。	6	0.6%
わからない	37	4.0%
合計	913	100.0%

◯病院・診療所の情報入手について

9　病院・診療所情報の入手先

「同国出身の友人・知人」および「日本人の友人・知人」の口コミによる情報入手が全体の６０．４％を占めた。次いで、「市役所･町役場」が１０．３％、「インターネット（パソコン)」が９．９％となった。

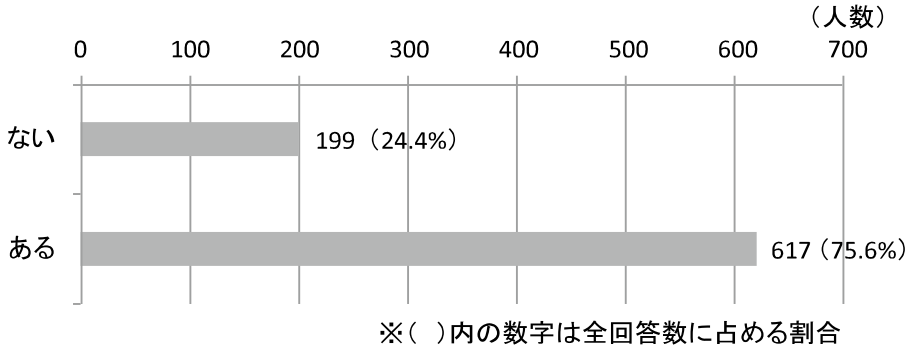


（その他の回答内容）
・学校、先生　　・会社、組合、工場　　・家族
・ＡＭＤＡ国際医療情報センター　　・最寄りの病院などに直接聞く。

◯病気になったときについて

10　自分や家族・友人の健康について

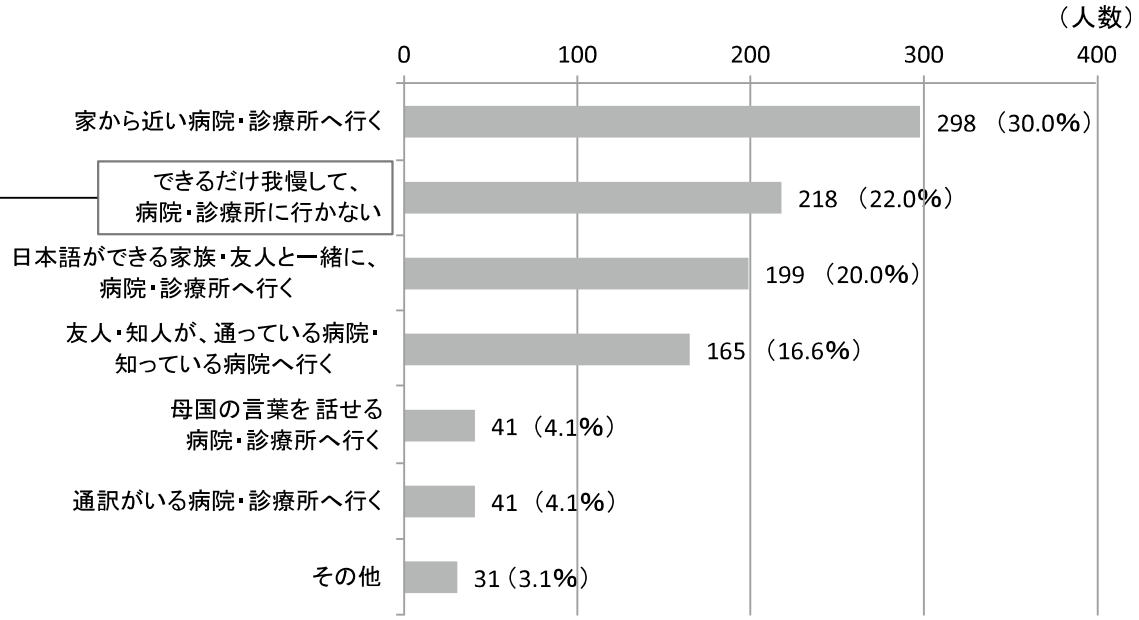
「自身や家族・友人の体の調子や病気について、医師に相談したいと思ったことがあるか」という問に対して、７５．６％が「ある」と回答した。



11　病気になったときの対応

「家から近い病院・診療所に行く」と回答した人が３０．０％と最も多かった。その一方で、２２．０％の人が「できるだけ我慢して病院に行かない」と回答した。

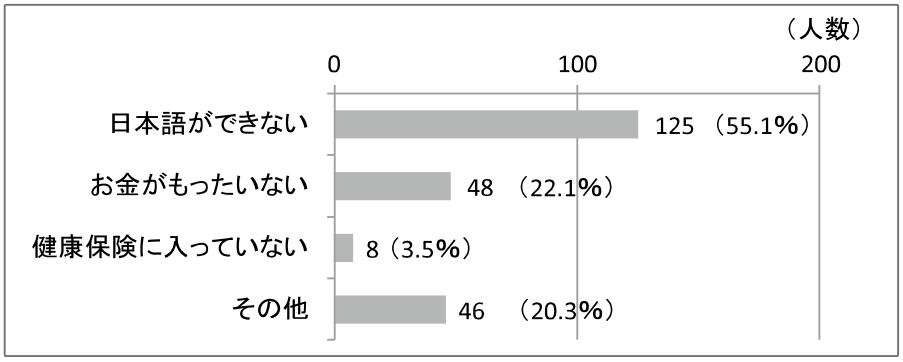
「できるだけ我慢して病院に行かない」と回答した理由としては、「日本語ができない」、「お金がもったいない」という理由が多かった。その他の回答では、「仕事などで忙しく時間がない」という回答も多かった。



※（　）内の数字は全回答数に占める割合
※複数回答を含む。

（その他の回答内容）
・評判の良い病院、または、紹介された病院に行く。
・かかりつけ医師がいる病院に行く。
・英語がわかる医者のいる病院に行く。
・学校の病院に行く。
・ハンドブックを持って病院に行く。
・自分で母国から持ってきた薬を飲む。ドラッグストアで薬を買う。

その理由



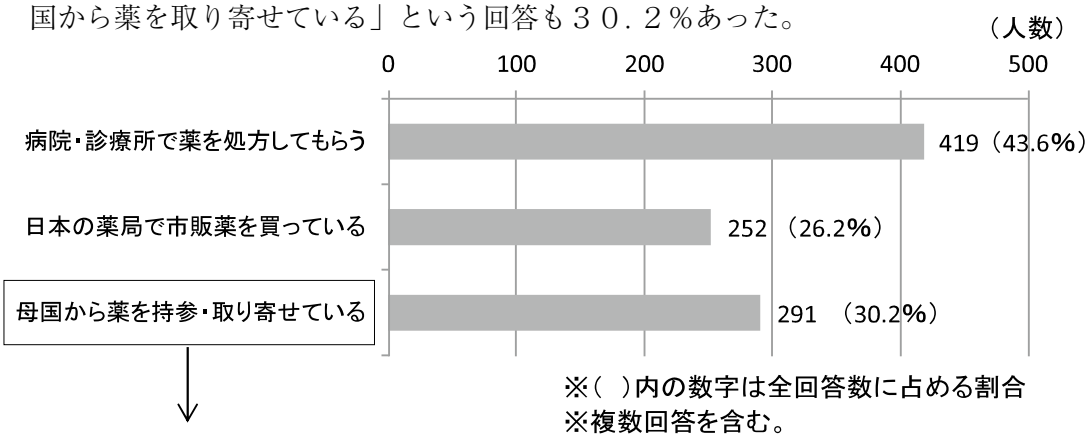
※（　）内の数字は全回答数に占める割合
※複数回答を含む。

（その他の回答内容）
・仕事が忙しく時間がない。
・英語が話せる医者が近所にいない。
・母国から薬を持参しているし、どこの病院に行ったらよいかわからない。
・薬をたくさん飲みたくない。日本の医者はたくさん薬を出しすぎる。
・重い病気でなければ、日本人に迷惑をかけるから行けない。

◯薬について

12　薬の入手方法

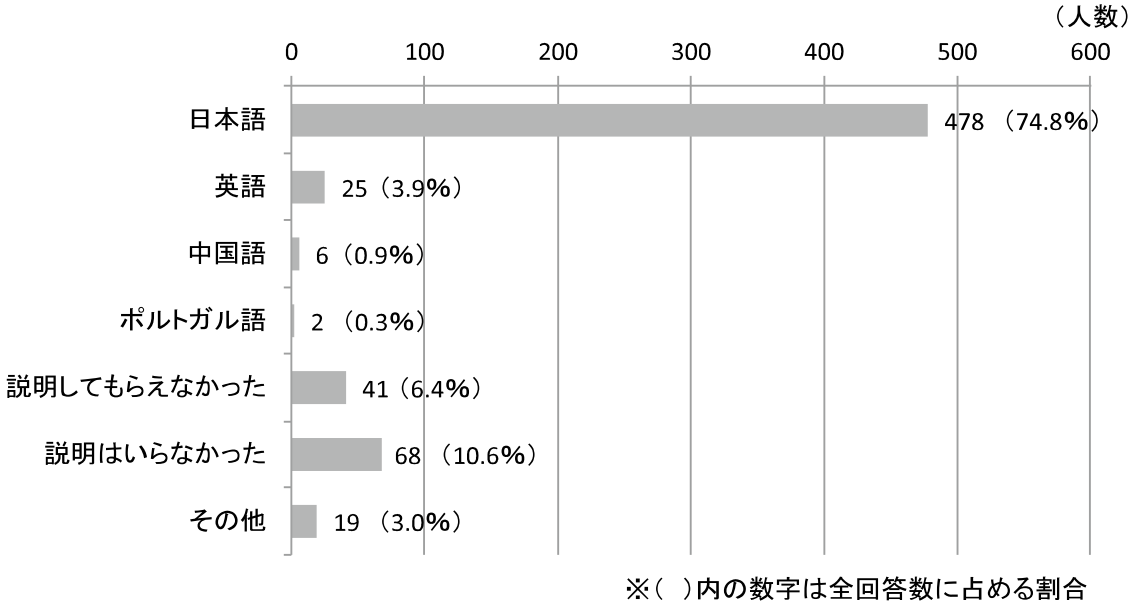
「病院・診療所で薬を処方してもらう」が４３．６％と最も多かった。また、「母国から薬を取り寄せている」という回答も３０．２％あった。



（その他の回答内容）
・薬の内容、効用、服用方法を知っていて、使い慣れているから（日本の薬はよくわらない）
・日本の薬は高いから（母国の薬が安い）
・日本語ができないから（説明がわからない・違う薬をもらう心配・医者に行けない）
・便利だから
・効き目がより強い・よく効くから（日本の薬は弱い）
・常用薬として持参
・（いつも使っている薬で）日本で手に入りにくいから

13　処方薬または市販薬を買う際、説明で使われた言語

７４．８％の人が「日本語」で説明を受けたと回答した。英語・中国語・ポルトガル語の外国語で説明を受けたと回答した人は５．１％あった。

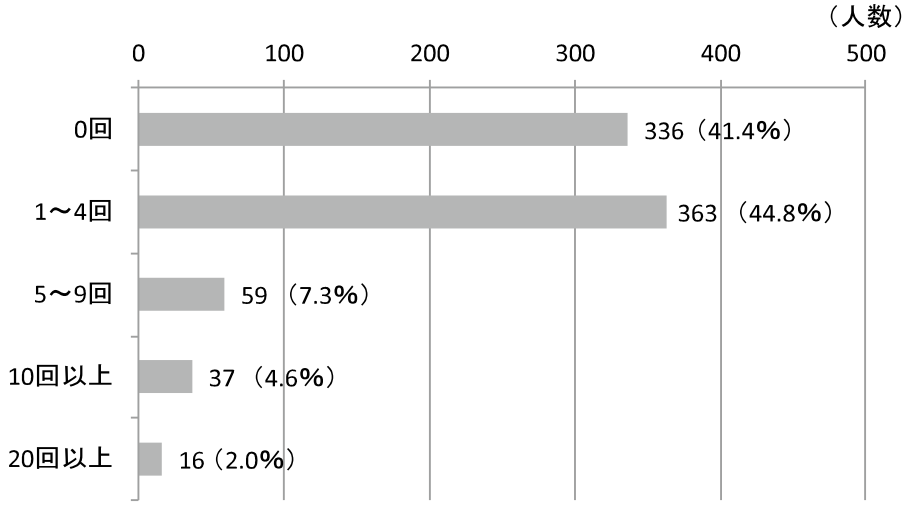


（その他の回答内容）
・英語と日本語を混ぜて説明を受けた。
・友達や家族、会社の人が代わりに聞いた。

○医療機関での受診について

14　福井県の病院・診療所における受診回数（過去１年）

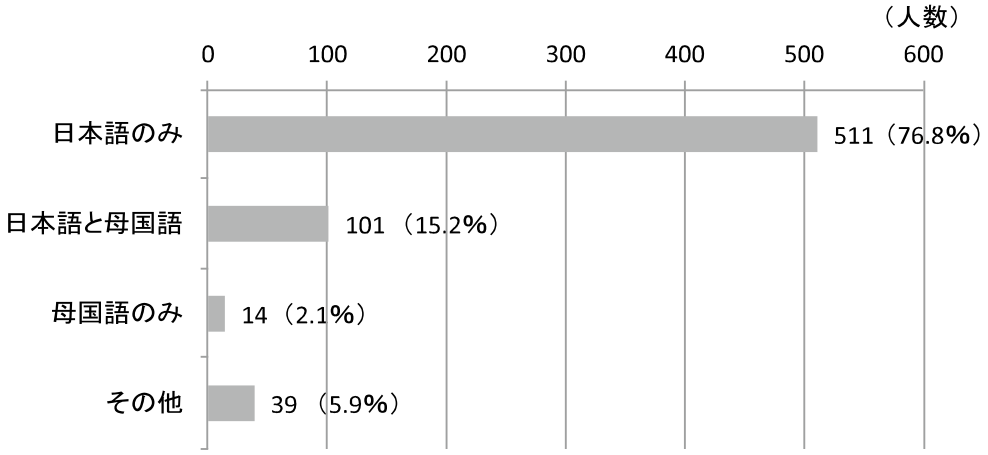
過去１年で福井県で１回以上受診した人は５８．６％いた。その内、「１～４回」が最も多く、４４．８％、次いで「５～９回」が７．３％、「１０回以上」と「２０回以上」と回答した人の合計は６．６％であった。



※（　）内の数字は全回答数に占める割合

15　病院・診療所で話した言語

病院・診療所において使用した言葉は、日本語のみが７６．８％、日本語と母国語が１５．２％、母国語のみが２．１％となっている。



※（　）内の数字は全回答数に占める割合

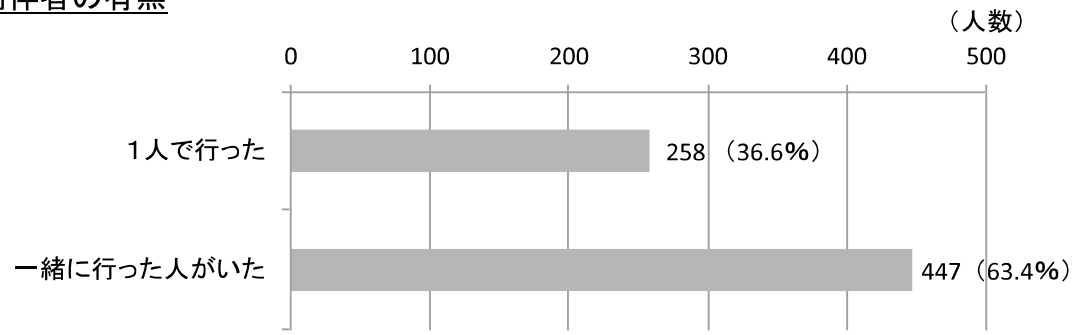
（その他の回答内容）
・英語と日本語
・母国語と英語と日本語
・友達や家族が代わりに話した。

16　病院・診療所に行った時の同伴者

病院・診療所に 「１人で行った」と回答した人は３６．６％あった。「一緒に行った人がいた」と回答した人は６３．４％であった。

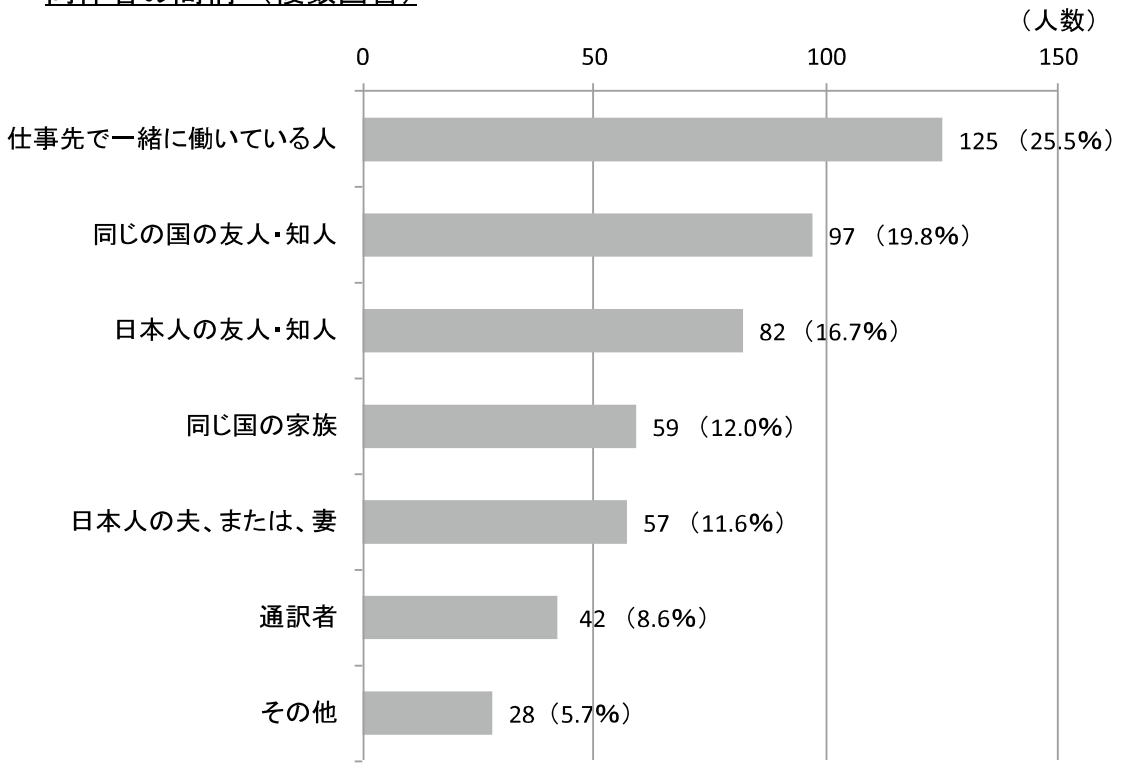
同伴者との間柄で最も多かったのが、「仕事先で一緒に働いている人」で２５．５％あった。次いで、「同国の友人・知人」が１９．８％、「日本人の友人・知人」が１６．７％、「同じ国の家族」が１２．０％、「日本人の夫または妻」が１１．６％、「通訳者」は８．６％あった。

同伴者の有無



※（　）内の数字は全回答数に占める割合
※複数回答を含む。

同伴者の間柄（複数回答）

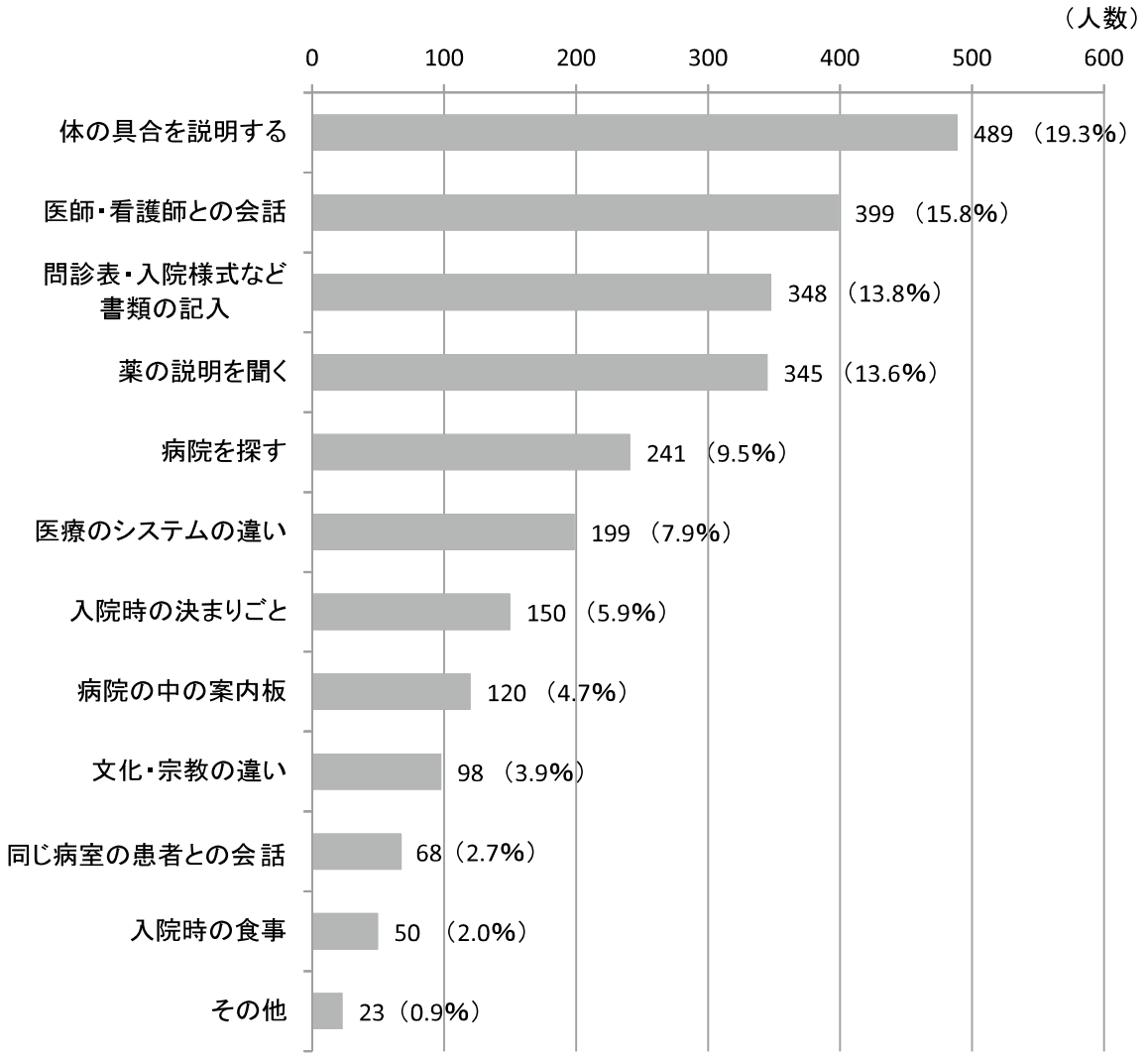


※（　）内の数字は全回答数に占める割合

（その他の回答内容）
・組合の人　　・日本語の先生　　・派遣元の人

17　病院に行ったときに、特に困ったことや不安を感じたこと（複数回答５つまで）

「体の具合を説明する」、「医師・看護師との会話」など、コミュニケーションの難しい人が３５．１％、「問診票・入院様式などの書類の記入」が１３．８％、「薬の説明を聞く」が１３．６％、「医療システムの違い」が７．９％等となっている。

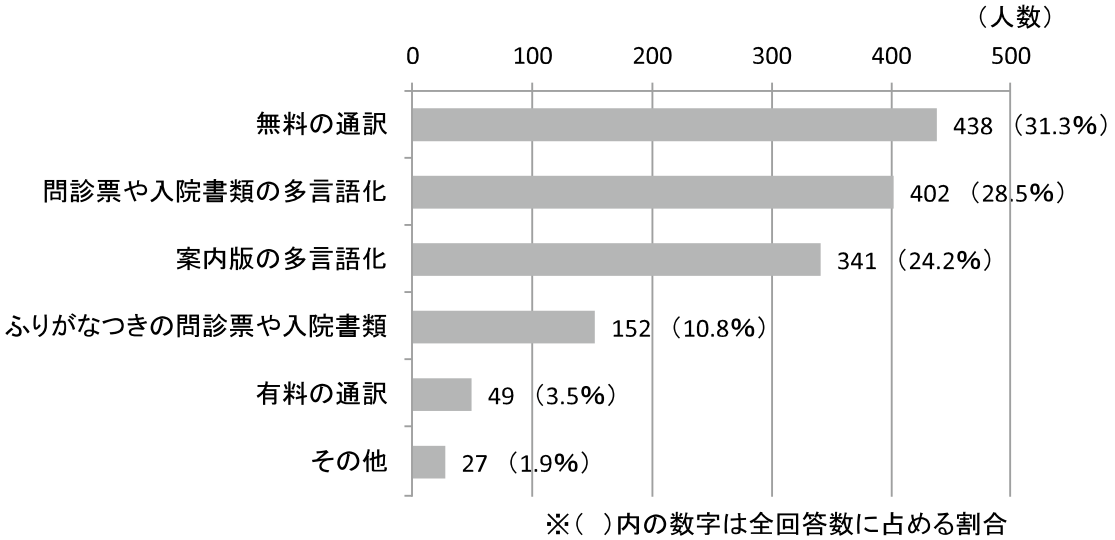


※（　）内の数字は全回答数に占める割合

（その他の回答内容）
・医師の説明がわかりにくい。
・医者の診断を聞いている時、看護師さんがずっとそばで見て聞いていた。
・症状によって、何科を受診すればいいのか、分からない時がある。
・治療費
・保険制度がよくわからない。

18　希望する医療サービス　（複数回答３つまで）

「無料の通訳」３１．３％と「有料の通訳」３．５％を合わせて、３４．８％の人が通訳サービスを希望している。「問診票や入院書類の多言語化」は２８．５％、「ふりがなつきの問診票や入院書類」は１０．８％であり、３９．３％が書類の多言語化やふりがなつきを希望している。「案内版の多言語化」は２４．２％あった。

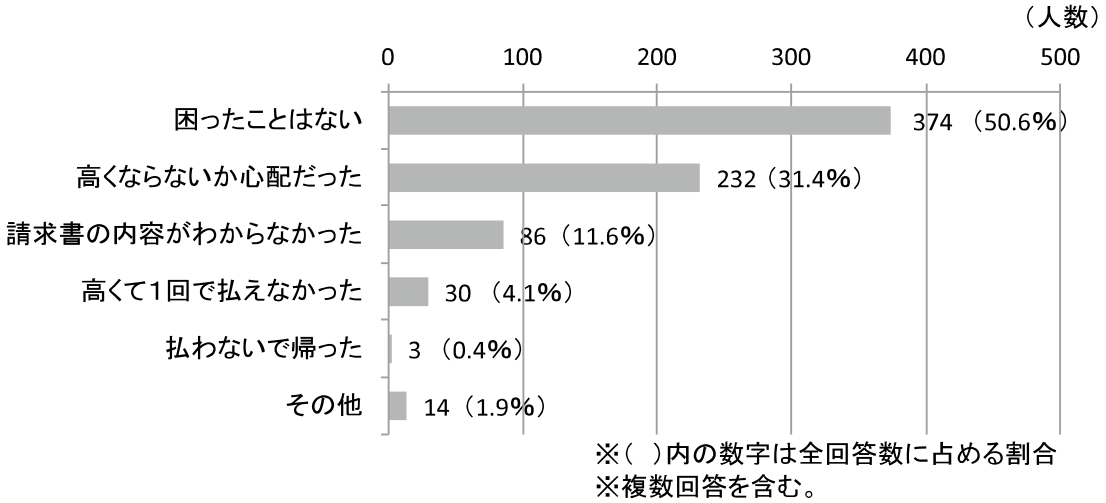


（その他の回答内容）
・母国語が話せる医者、病院の情報
・医師の説明をわかりやすい、やさしい日本語で話してほしい。
・医者はパソコンを見ないで、患者を見てほしい。
・薬の説明、副作用などの詳しい説明をしてほしい。
・時間をかけて病気、治療の選択などを説明してくれる医者

○医療費について

19　病院でお金を払うときに困ったこと

「困ったことはない」と回答した人が５０．６％で最も多かったが、「高くならないか心配だった」、「請求書の内容がわからなかった」など不安を感じている人も４３．０％あった。

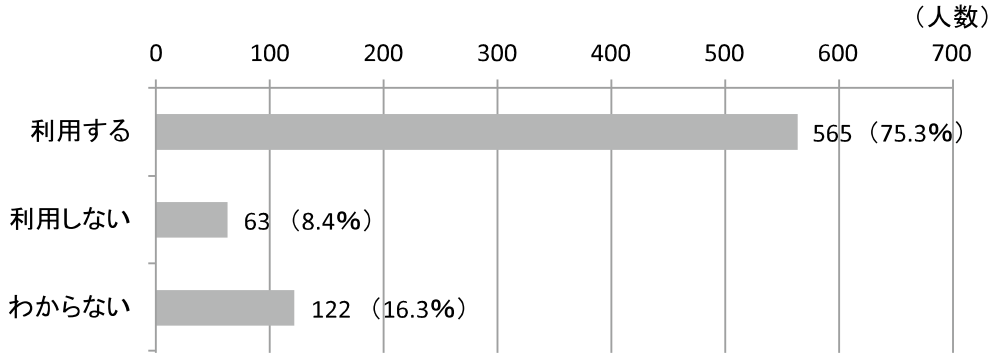


（その他の回答内容）
・外国のクレジットカードで支払いできるかわからなかった。
・最終的な料金が最初に言われた料金の倍だった。
・治療費の内容が具体的な金額ではなく、点数で表示されている。

○医療通訳制度について

20　制度の利用について

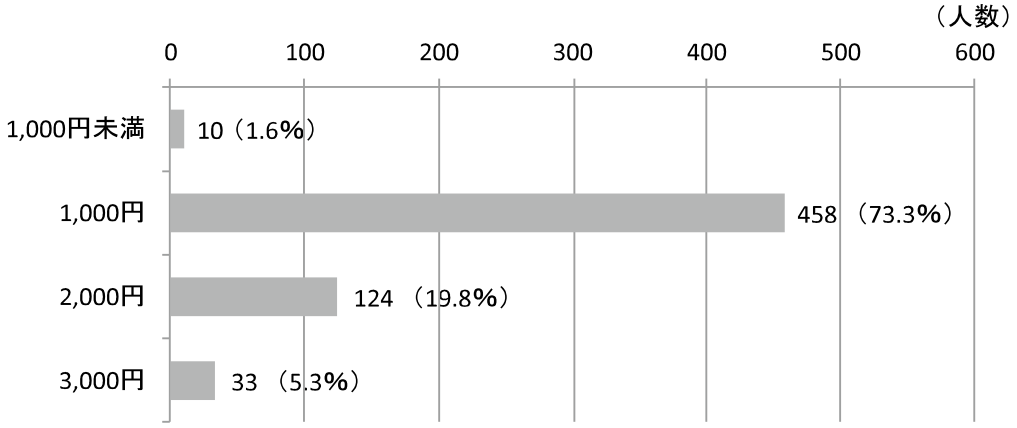
病気になった場合に通訳制度を利用するかどうかについて、「利用する」と回答した人が７５．３％あった。



※（　）内の数字は全回答数に占める割合

21　制度利用の際の負担額

制度を利用するにあたって、１回あたり負担できる金額としては、「１，０００円」が７３．３％と最も多く、次に「２，０００円」が１９．８％、「３，０００円」が５．３％となった。



※（　）内の数字は全回答数に占める割合

○　自由意見

日本の病院・診療所に対する好意的な意見

○全般的に日本で受けた健康管理の速さ、質の良さに感心した。専門医やその他ほとんどの医者の予約を取るのも簡単である。医者も看護師も親切で助けになって英語も多少話してくれた。

○日本の医療システムはとても良い。私と家族に安心感を与えてくれる。

○病院のスタッフが親切で礼儀が正しい。他の国の人々が学ぶべき。ありがとう！

○三年間の間に、病院へ行った事がある。病院のスタッフ達が皆非常に親切で、熱心な対応、深い印象が残ってる。

○病院内、各科の標識が分かりやすい。とても便利である。

○母国と比べて、サービスがとても良い。

○看護師の態度がよかったと思う。

○サービスがとっても良くて感謝いたします。

○どの病院で受診を受けても、皆の態度が非常に良い。

○医者・看護師が親切です。

○対応が良い。たくさん話してくれて、それが助かることもある。

通　訳

○言葉が通じないため、中国人が受診するのは難しい。無料の通訳を希望する。

○医療通訳制度はできるだけ無料を希望する。健康検診は無料で定期的に受診できるとよい。

○言葉が分からないので、通訳が必要である。

○病院のスタッフは礼儀正しいが、医療通訳者を希望する。

○都会の方で通訳制度があることを聞いたことがある。このシステムは診察室からインターネットを通じて通訳するシステムで、病院に外国人患者が診察に来た際、通訳が必要とされる場合に、その場で医師がインターネットで通訳と連絡を取り、速やかに通訳が可能となる便利なシステムである。これだと、待ち時間がないため通訳さんの手間暇を省くことが出来てとても便利だと思う。私は一時ボランティアで医療通訳をした経験があり、病院での無駄な待ち時間がとても長かったことを覚えている。

○通訳を置くことはとてもいいことだと思うが、日本語の中途半端な外国人や外国語の中途半端な日本人を使うと余計にややこしくなるので、ただ置くだけではなく、訓練や研修等に参加させ、難しい場合でも対応できるようにしてもらえると助かる。

○今まで何回か病院の外国語パンフレットを読んだことがあったが、表現の曖昧さや文法の間違いのためわかりにくかったので改善してほしい。

○電話通訳の設置。病状、検査、その他医師の説明等が理解できない場合、その場で医師と直接電話し、その内容を速やかに外国人患者に伝えることが可能となる。通訳業務のコストも少なくなるし、通訳さんの手間も省くことができ、数多くの医療機関からの通訳依頼に答えることが可能となる。

○医療関連の行政機関と民間会社（派遣元）で協定を結び、緊急時に病院搬送が必要となった場合、協定がある派遣元に協力してもらえたらと思う。その際、可能であれば通訳さんの同行もしくは電話通訳があればいいと思う。

○外国に来て、言葉が分からないため、病気をして入院する時は一番困る。外国人のために無料医療通訳、無料検診サービスを提供してほしい。できたら無料受診もあると少し安心して外国に募らせると思う。
○福井でもポルトガル語通訳の方がボランティアでしてくれると助かる。
○病気の程度によって通訳制度を利用したい。
○福井県嶺北地域で中国通訳できる病院がわずか７院しかない。その中で福井市は３院しかない。中国人患者に対して通訳サービスが提供できていないと思う。
○できれば薬局にも通訳がいるとよい。
○トリオフォンでのサポート
○中国語通訳がいる事を望む（書式の記入、薬の説明ｅｔｃ）。
○英語の通訳を広く使う。
○現在、外国人が通訳にアクセスできる制度はないため、多くの人たちは友人か同僚に通訳を頼んで病院に行っている。問題は、その友人や同僚が通訳基準に達していないことが多いことである。また、医療通訳として活動したい人たちが、通訳をすることに気が進まない理由は次のことがある。
（ａ） 研修不足
（ｂ） 体制不備（長時間の拘束、交通費、心の支え、言葉等のサポート）
一日中拘束され、昼食を取る時間もなく通訳させられ、必要がなくなると「さよなら」でお礼の一言もなく終わりというケースもあった。
（ｃ） 健康面での心配（感染症等に対する予防）
病院で病気をうつされる可能性がある（インフルエンザの流行時に待合室で感染する可能性等。病院によっては、通訳者に無料でインフルエンザの予防接種をしている）。
（ｄ） 通訳のガイドラインがない
通訳の基準がないため、誤訳の不安がある。（過失であっても）誤訳をしてしまうと医師・患者からクレームがくる。
（ｅ） 通訳者に対する理解の不足
医療関係者や患者により、医療通訳者に期待することが異なる。（レントゲンの検査室に通訳は入室を禁止され、患者は検査技師の日本語が分らなかったので、何をしていいかわからなかった。別の日に、通訳がＸ線の被爆をしないように別室で待機し、大声で通訳をしたケースがある。）
○医療通訳が必要な在住外国人にとっては次のような問題がある。
（ａ） 通訳者へのアクセス方法
（ｂ） 通訳者の利用方法
（ｃ） 通訳者の質の確保
外国人にとって、十分な通訳能力がある医療通訳を利用できる保障はない。研修を受けていないボランティアにはお金を払いたくない。ある通訳者は、１０分の医師の説明を大ざっぱに１分にして、ＯＫと言って安心させ、その後、書類にサインをさせた。その書類は１週間の検査入院に同意したという意味だった。あとでそのことを知り、その患者はショックを受けた。

対応可能な病院

○小さなクリニックに英語のサポートは期待しないが、大きな病院において英語でのサポートがないのはおかしい。今年の初めに友達が1週間入院したがどんな形であれ一度も言語的サポートを受けなかった。とても失望し、がっかりした。彼は日本人の友達がいて助けてくれたので良かったが、その状況は本当に理解できない。

○大きい病院には無料通訳がほしい。

○都会では医療通訳制度があるが、福井にはないので、せめて大きな病院では医療通訳制度を設けてほしい。

○日本国内に様々な国の外国人がいる。その中で、ブラジル国籍を持つ外国人が多い。越前市にもブラジル人が多い。それなのに何故、母国語で対応して頂ける指定病院がないのだろうか。私達の希望を実現していただけるためにどうしたらよいのだろうか。

○できれば無料で病院に中国人の医療スタッフを配属して、先生とのコミュニケーションし易いように。

○ブラジル人が一番利用する病院に通訳がいると良いと思う。

言　葉

○医学について専門用語が分かりにくい。

○病院に英語が話せる医者がいれば良い。

○日本語のほかに英語も使うべき。そうするととても助かる。

○日本病院の先生、スタッフは皆親切に接してくれることに満足できる。ただ、日本語ができないため、会話が難しい。自分の病状を正確に説明できない。もし母国語（中国語）が通じる病院があったら、良いタイミングで治療することができる。

○日本語で会話するのはむずかしい。先生にはゆっくり話してほしい。

○あまり印象がよくない。話すスピードが速くて、分からない。

多言語化

○診断書の多言語化

○英語訳の書式があるとよい。

○院内標識の多言語化

治療費・保険

○治療費は高いので研修生（実習生）にとって負担が重い。研修生の為の制度を希望する。

○治療代が高いと聞いたことがある。私は日本語があまり上手ではないため、できるだけ中国で治療を受けるようにしている。

○健康保険に加入していない外国人が支払いやすい金額を望む。

○生活が困難で払えない。できれば日本の病院が無料通訳を提供することを希望する。

○時々、支払額がとても高い。

○日本の病院は設備がよく、綺麗で好きだが、治療費は高いので心配だ。

○自分の病気は医療保険の対象になるかどうか、多言語の詳しい説明がほしい。

医療制度

○日本の病院に対する印象として、予約がないと、待ち時間が長い。日曜日は病院がみな閉まってる。

○自分の日本語のレベルがどんなに良くても入院したときは、とてもストレスが多かった。治療については良かったが、病院のルールやシステム等についての説明があったら良かったと思う。

○私の娘は生まれつきアトピーを抱えている。正確な診断をしてもらえるまでいくつかの小児科にかかった。その間、病院側は何一つ詳しい検査をせずその時の症状を抑えるためだけの治療薬を処方し完全に治す努力をしなかった。現在は適切な治療を受けており、この４年間はアトピーの危機なく過ごしている。日本の医療制度に対する怒りとは、医師たちが５分程度で問診ができることだ。本当に患者の症状等を理解できているのか。それと、一番最悪なことは、受診料の支払いと薬を受け取るまで１時間以上かかることだ。

○患者の優先権が気になった。高熱があったのに、待合室で６時間も待つように言われ、その間にたくさんの人が先に行ったり来たりした。病院が医療センターというより、老人福祉センターのような感じがした。

○コミュニケーションが本当に難しくストレスが多い。病院ではいつも部屋に大人数いるが、医師、看護師、医学生は誰もそのことについて説明しない。医師と１対１で対面、もう少しプライバシーがあると良い。

○日本の治療方法は保守的と感じた。病気になった時、既に辛いのに、何度も病院へ通う必要がある。時間もかかるし、面倒で不便だ。

○日本人の医者の中には患者の話を聞こうとしないで検査にたよりがちな医者がいる。不必要な薬の処方やまちがった薬を出されたこともあり怖かった。

○予約なしで直接病院に行っても、先生がいない時がよくある。不在ということが事前にわからないまま、急な病気やケガで病院に行ったら困ると思う。今はほぼ個人的なクリニックを利用するのが多い。

○待ち時間は長いが、診察の時間はとても短い。言葉のせいかと思うが、何か冷たく感じる。

○待ち時間が長いことが気になる。

薬

○多言語で薬の説明をしてほしい。

○薬の飲み方等が良く理解できない。

○薬の名称を英語で表記してほしい。

病院の情報

○日本の病院は専門で分かれているため、自分がどの病院にいったらよいか全然分からない。総合病院に行っても、どの診療科に行ってよいかわからず受診できないかもしれない。

○平日は学校の保健センターの先生から紹介してもらえるが、もし休みの時、急に病気になったら、結構困ると思う。

○留学生にいくつか病院を推薦したらいいと思う。そして、日本の受診手続きを詳しく外国語で知らせたらいいと思う。病気の時、どの病院行ったらいいかとか、まず何をしたらいいか等。

○病院や診療所について、ウェブサイトやパンフレット上で、英語での説明があるべきだ（私の国ではある）。システムについてやこの症状の時はどの病院に行ったらよいか（行くべきか）等。
○日本の総合病院の数は比較的少ない。週末・休日は休診が多い。重い病気になった時に不便である。
○休日にしか病院に行けない人のため、休日に受診できるように調整してほしい。
○日本の病院は早く閉めるので、夜の急患の時は困る。
○市町の相談窓口で医療機関の一覧と診察時間及び専門分野が分かるようにしておくべき。
○受診できる時間を長くしてほしい。特に夜や週末も受診できるように。
○日曜日に受診できる病院があったら、行きやすい。
○地元の医療機関がどこにあるか知らない。

出　産

○外国人が日本で出産する時の様々な問題について、関心を持ってほしい。

その他

○母国で受ける処置と異なる処置が不安である。日本では注射、鼻のカメラが多い。
○私の祖国では、自分の体の状態や処方された薬について医者に質問することはかなり容易である。かつて福井の診療所で受診したとき、私が相手に理解可能な日本語で話し、質問も妥当なものであったのにもかかわらず、納得の行く説明をしてもらえなかった。また、日本と比べて私の祖国では診察の際、患者の精神上の健康（精神衛生）をより考慮しているように思う。
○足をねんざして痛いのに、薬を出してくれなかった。扁桃腺の手術で２週間の入院は長すぎる。市販薬は高すぎて選択肢が少ない。精神科治療について、うつ病、不安、ストレスについて日本の医師は精通していない。
○日本語と英語は、病院、診療所、医療システムにおいて使うために必要な言語である。
○派遣元は、自分の会社の派遣労働者の面倒を見る責任がある。派遣元は外国人労働者を扱って大きい利益も得ている。そのため、派遣元に対してもっと厳しく指導すべきである。
○病院が遠い。
○真心を持って診療してほしい。
○医師の不親切、説明不足。

Ⅴ　まとめ

Ⅴ　ま と め

１．アンケート調査結果について

【医療機関】

医療機関側からは、外国人患者を受け入れた経験をもとに、診療の際の不安や苦慮されている点について垣間見ることができた。

①外国語によるコミュニケーションに対する不安

英語については、対応が可能と回答した医療機関も多く見られたが、中国語やポルトガル語（への対応）等、福井県において在住外国人数の多い中国人やブラジル人への対応については、筆談や身振り手振りで対応することが多く、適切な診療のための意思疎通を図ることが難しいと感じている。

また、英語でコミュニケーションができる場合や通訳者を同伴している場合でも、専門用語の説明や微妙なニュアンスを伝えきるのは難しいと感じている。

②保険未加入者への苦慮

在住外国人のアンケート結果から外国人患者の９割は何らかの保険に加入していることが分かったが、特に未加入者や自身の保険加入について分からない人については、医療機関側が患者の自己負担について相談しながら治療を進めなければならない状況にある。

③文化・習慣の違いへの不安

外国人患者の外来受診時や入院時におけるルールや食文化等の違いを理解してもらうことに不安を感じているものの、外国人患者の受け入れに関する研修等はほとんど行われていない。

【在住外国人】

在住外国人側からは、病気の際の行動様式、受診回数等の受診状況や実際に受診して感じた不安等について実態を知ることができたとともに、医療機関、薬に関する情報不足や医療通訳者の必要性等、多様な支援を求めていることが分かった。

①医療情報の入手方法の不足

医療機関に関する最新の情報についてアクセスする方法が知られていないため、友人・知人からの口コミによる情報が中心となっており、対応可能な診療科や受診時間等の情報にアクセスできないまま、最寄りの医療機関や生活圏内にある医療機関へかかっている人が多い。

②日本語によるコミュニケーションに対する不安

日本語によるコミュニケーションに不安を感じている外国人、特に企業研修生等は、病気をしても医療機関を受診せず我慢をしたり、母国から持参した薬で対応したりしている。

また、受診をしても受付から支払いまでの様々な場面で日本語でのコミュニケーションに不安を感じており、多くの人が医療通訳を必要としている。

自由意見からは、日本の医療機関・医療従事者に対する好意的な意見が多く聞かれる一方で、コミュニケーション不足が日本の医療に対する不信感につながっていることや十分な通訳能力のないものが通訳を行っている現状も見えてきた。

③薬に関する情報不足

「日本語ができないため日本の薬の説明が分からない。」、「母国の薬の方が効用や服用方法が分かり安心して使用できる。」といった理由や日本の薬に対する印象（効果が弱い、値段が高い等）から母国から薬を持参している人も多く、薬の情報提供についても課題がある。

２．第３回検討委員会における主な意見

第３回検討委員会ではアンケート調査をもとに、県内の医療環境を整えるためには、医療機関および在住外国人に対して、どのような支援が必要なのかについて、意見交換を行った。

医療通訳制度

・アンケート結果では、医療通訳サービスを希望するがその費用は負担できないという意見が多い。医療通訳サービスにはそれに対応した組織を作る必要がある。
・救急の場合は、特に夜間等、通訳者を伴ってくることができない。そういった場合の対応も必要と感じる。
・在住外国人は、労働者として地域の経済を支え、税金を納めている。県や市には１人でもいいから医療通訳が出来る人を配置してもらいたい。そういう要望を行政等にしていくべきである。
・医療機関では医療通訳の経費を負担する財政的な余裕はない。
・医療通訳の経費は全部を公費で賄うのではなく、緊急の場合等に対応するようにしたらどうか。

医療通訳の質

・医療通訳は、高い通訳能力が求められる。ボランティアで実施する場合は、どのようにしてレベルを上げ、維持していくのかが問題である。
・医療通訳者は、診察、検査、薬、合併症、退院時の説明等、幅広い医療知識について日本語と外国語で理解する必要がある。また、一人で多様な職種の方の通訳をすることもあり、高い通訳技術が求められる。
・通訳を同伴していれば、医療機関からの情報が正確に患者へ伝わっているものと思っていたが、改めて同伴してくる通訳者の能力について疑問が湧いてきた。こういうことを医療関係者にも知らせる必要がある。

ＩＴ活用

・医療通訳サービスについてはコストがかかるため行政で取り組むのは難しい。インターネット等のＩＴの活用に今後の方策があるのでは。
・中国語や医療分野での対応は不明だが、NTTドコモでは通訳電話サービスを試験的に始めるようだ。今後の取り組みとしてインターネットの利用は可能性がある。

多言語資料の活用

・日本の医療システムが分からない外国人のために、日本の医療システムを多言語で説明した既存の資料等を活用できるようにインターネット上で紹介してはどうか。

・インターネットはいつでもアクセスできるツールとして活用することが重要である。多言語問診票、受付窓口用多言語資料等は県外の先進的な取り組みとして作成されており、ダウンロードできるようになっている。必要な時にそういった情報が取り出せるよう、インターネット上に情報を集約し、医療関係者等に広く広報するとよい。

トリオフォンの活用

・経費を考えるとトリオフォンを活用したらどうか。派遣する人の移動や待ち時間の節約にもなる。
・内容が難しくなると、トリオフォンでの通訳サービスで的確な意思疎通が図れるのか不安である。

多言語問診票等の作成

・問診票等を翻訳する場合には、異なる人で二重にチェックしないと誤訳を生む。
・問診票は○×を記入する程度に簡便にしないと、回答したものを翻訳しないといけなくなる。

３．提　　言

当検討委員会は、医療機関および在住外国人に対するアンケート調査結果並びに第３回検討委員会の意見交換を踏まえ、福井県国際交流協会に対し、次のとおり、今後、取り組むよう提言する。

①医療機関および在住外国人のための多言語リソースの情報提供

医療システムの概要や違いを理解するための受診概要説明、問診票、同意書等、医療機関にかかる際に必要となる記入書式の多言語化、診療科等の院内外における表示等、医療機関用、在住外国人用のリソースの情報提供と広報。

多言語リソース・・・P42 ～ 44に掲載

②県内医療機関の情報提供

在住外国人への「医療情報ネットふくい」に対する浸透度は低いと思われるため、福井県国際交流協会ホームページからアクセスができるようリンクの作成と在住外国人向けの情報提供において周知・広報を行う。

③医療通訳サービスのための体制づくり

診察（受診）、検査、入退院時の説明等における通訳サービスの体制づくり。

体制づくりに当たっては、福井県における在住外国人の言語や在留資格に配慮するとともに、費用負担、責任の所在、通訳者の質の向上等の課題について十分検討すること。

④その他

トリオフォン導入の検討、外国人患者受入れのための医療機関との協働研修会の企画・実施、薬の情報提供内容等の検討等。

多 言 語 リ ソ ー ス

＜ウェブサイト＞

○多言語版医療窓口対応シート

…医療機関が日本語を母国語としない患者に対応するためのシート。
（診察申込書、受付、薬、入院、会計、請求書、保険制度等）

作成機関：財団法人新潟県国際交流協会

言　　語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、タガログ語、インドネシア語、
やさしい日本語　全８カ国語（各言語に日本語併記）

URL：http://www.niigata-ia.or.jp/jp/ct/004_siryou/001_siryou/001_siryou.html

○一般的な病院での外来診察の流れ

…外国人が医療機関の窓口で困らないための一般的な外来診察の流れを掲載。

作成機関：特定非営利活動法人AMDA国際医療情報センター

言　　語：英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、日本語　全５カ国語

URL：http://amda-imic.com/modules/useful/index.php?content_id=1

○多言語医療問診票

…日本で暮らす日本語の話せない外国人が病院へ行く時に、病気やけがの症状を医師に
説明するための問診票。診療科別に翻訳。

作成機関：NPO法人国際交流ハーティー港南台・公益財団法人かながわ国際交流財団

言　　語：インドネシア語、英語、カンボジア語、スペイン語、タイ語、タガログ語、
中国（北京）語、ハングル語、ベトナム語、ペルシャ語、ポルトガル語、ラオス語、
ロシア語、フランス語、ドイツ語、アラビア語、クロアチア語、日本語
全１８カ国語（各言語に日本語併記）

URL：http://www.k-i-a.or.jp/medical/

○診察申込書

…外国人が医療機関の窓口で困らないための多言語診察申込書で、名前、住所、
国籍等の個人情報、保険の種類、受けたい診療科目等を記入する。

作成機関：特定非営利活動法人AMDA国際医療情報センター

言　　語：英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語　全４カ国語（各言語に日本語併記）

URL：http://amda-imic.com/modules/useful/index.php?content_id=1

○メディカルハンドブック

…外国人が病院に行ったときの基本的な応答、症状の表現等を、各言語と日本語の対照表でまとめた小冊子。

作成機関：公益財団法人茨城県国際交流協会

言　　語：英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語　全８カ国語

URL：http://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/soudan/medical/index.html

＜書　籍＞

○「１６ケ国語対応診察補助表」

…受付・会計時の会話、患者から医師へ症状の伝え方、検査時の会話、医師から患者へ治療の説明・診断、注意事項、服薬指導等を掲載。

発　行：２００２年１２月

言　語：英語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語、中国語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ラオス語、カンボジア語、ペルシャ語、ベンガル語、ロシア語、フランス語、インドネシア語、ミャンマー語　（各言語に日本語併記）

発行所：特定非営利活動法人AMDA国際医療情報センター

○「７ケ国語対応外国人患者のための入院ガイド」

…患者用、医療従事者用に分けて構成した入院ガイド。

・患者用：入院受付、医療従事者から外国人患者に伝えたい事柄、入院手続きの方法、必要物、病棟のスケジュール、食事、面会時間、支払い、退院等。

・医療従事者用：緊急連絡先等、患者に確認したい事柄。

・入院証書や宗教上の禁忌、手術承諾書についても掲載。

発　行：２００１年３月

言　語：英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語

発行所：特定非営利活動法人AMDA国際医療情報センター

○「１６ケ国語対応歯科診察補助表」

…「受付用」、「患者から医師へ」、「医師から患者へ」、「診察時」「治療後の注意事項」の５つのパートで構成。

発　行：１９９７年８月

言　語：英語、スペイン語、ポルトガル語、ペルシャ語、中国語、韓国語、タイ語、カンボジア語、ベトナム語、ロシア語、ベンガル語、フランス語、フィリピン語、ラオス語、インドネシア語、マレー語

発行所：特定非営利活動法人AMDA国際医療情報センター

○「９ケ国語対応服薬指導の本」

…病歴、アレルギーの有無、定期的に服用している薬、服用時の詳しい注意事項、副作用の説明等薬を使用するときに必要な説明を掲載。

発　行：２００４年１０月改訂

言　語：英語、スペイン語、ポルトガル語、ペルシャ語、中国語、韓国語、タイ語、タガログ語、ベトナム語

発行所：特定非営利活動法人AMDA国際医療情報センター

○「１５カ国語診療対訳表－Medical Check Sheet－」

…事務窓口、会計、診療科で使用する医療用語・表現を掲載。

発　行：１９９４年3月１５日　第1版第1刷

言　語：英語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、韓国語、中国語、タガログ語、タイ語、ペルシャ語、ベトナム語、インドネシア-マレーシア語、ベンガル語、ウルドゥー語、スリランカ語、タミル語

編　集：栃木インターナショナルライフライン（TILL）

発行者：株式会社医学書院

※絶版（福井県国際交流会館の情報相談コーナーに常備。）

○「外国人と日本人医師の臨床会話集（１～１０）」

…外国人患者と医療従事者のコミュニケーションを図るための基本会話集。

・受付、初診手続きから診療場面、検査、再診、入院、手術等の会話表現・必要用語を掲載。

・外国人患者が訪れた際の医療機関へのワンポイントアドバイスについて記載。

発　行：１９９２年１２月１０日　初版

著　者：大西　守、増茂　尚志

言　語：英語、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語、フィリピン語、タイ語、ペルシャ語　全１０カ国語

発行所：株式会社三修社

※英語編と中国語編は品切れ、増刷の予定なし。（福井県国際交流会館の情報相談コーナーに常備。）

資　　料　　編

資料編　1
（医療機関対象）

外国人患者への対応に関するアンケートのお願い

日ごろから、医療機関の皆様には、外国人患者の対応にご配慮を賜り、お礼申し上げます。

福井県における外国人登録者数は､平成２２年１２月末で､１万２千人を超えています。年々、永住者が増加する傾向にあり、外国人が医療機関を訪れる機会も増えています。

平成１９年に県内の外国人にアンケートを実施したところ、生活で困っていることの一つが、日常会話ができても、病院や役所等では、会話に不自由を感じるという回答が５割を占めました。

このたび、財団法人　福井県国際交流協会は、外国人を取り巻く医療の現状を知り、医療支援の必要性や課題を探るため、医療関係者にアンケート調査を行うことになりました。

お答えいただいた内容については、調査目的以外には使用せず、またすべて統計処理しますので、貴機関の回答内容が公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨にご理解を賜り、日頃お感じになっていることを、お答えくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

このアンケートは、社団法人　福井県医師会のご協力を得て、外国人医療支援検討委員会（委員長　福井県医師会理事　末松哲男）が実施するものです。

平成２３年１１月２５日（金）までにご回答をお願いします。
（添付の返信用封筒をご利用ください。）

【委員会事務局・問い合わせ先】

財団法人　福井県国際交流協会
電話：　0776-28-8800　　FAX：　0776-28-8818
住所：　〒910-0004 福井市宝永３丁目1-1　福井県国際交流会館

1　回答機関について（差し支えなければご記入ください）

①　機　　関　　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

②　電　　話　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

③　回答者職・氏名　職　　氏名

2　回答機関の種類　①　病院　②　診療所

3　回答機関の所在市町　＿＿＿＿＿＿＿＿　市・町

4　外国語対応について、下記の職種で対応可能なものがありましたら、その言語をお書きください。

職　種	言　語　（例　中国語、英語等）
①　医　師	
②　看護師	
③　薬剤師	
④　療法士等医療スタッフ	
⑤　ケースワーカー	
⑥　事務職	
⑦　医療通訳（雇用）	
⑧　医療通訳（ボランティア）	
⑨　その他（　　）	

以下の質問について、当てはまる番号に〇をつけてください。

外国人患者について

5　訪れる外国人患者数の傾向について

①　増えている。　②　変わらない。　③　減っている。

④　これまで外国人患者が来院（所）したことがない。

外国人患者の対応について

6　日本語のできない外国人患者の対応はどのようにしていますか？（最も多いものから３つまで）

①　日本語ができる友人や家族の付き添いをお願いしている。

②　やさしい言葉や筆談で対応している。

③　病院内で外国語ができるスタッフが対応している。

④　外部の医療通訳者・ボランティアに依頼している。

⑤　医療会話集や多言語問診票等の外国語補助資料を利用している。

⑥　特別な対応はしない。

⑦　その他（　　）

7　外国人患者の対応で、どのような場合に苦慮したり、不安に感じたりしますか？（最も多いものから３つまで）

①　病状、治療、手術、入退院等の説明
②　医療費の支払い
③　医療保険に加入していない場合
④　患者とその付き添い人の関係
⑤　生活習慣等の違いを理解してもらう場合
⑥　食文化の違いを理解してもらう場合
⑦　その他（　　）

8　外国人患者が無保険で来院した場合は、どのように対応しますか？

①　無保険でも診察する。
②　無保険の場合は診察しない。
③　無保険の場合は他の医療機関を紹介する。（紹介先→　　）
④　これまでに無保険で来院したことはない。
⑤　その他（　　）

9　外国人患者の対応について、どのような対策が必要と考えますか？（最も必要と思うもの５つまで）

①　受付から診察、支払までの流れについて説明した多言語版資料の作成・配布
②　問診票等、記入する書類の多言語化
③　受付、保険の確認、支払時の会話をサポートする多言語版資料の作成・配布
④　診察・検査等の会話をサポートする多言語版資料の作成・配布
⑤　院内・診療所内表示の多言語化
⑥　県内の主要病院に医療通訳者を配置
⑦　電話による通訳対応（３者通話）
⑧　医療通訳者の養成と派遣
⑨　医療従事者に対する外国人患者の対応等についての研修
⑩　医療従事者に対する外国語会話研修
⑪　その他（　　）
⑫　特に必要ない。

医療通訳について

10　外国人患者の対応で医療通訳の必要性を感じることはありますか？

①　感じることがある。
→それはどの言語ですか？（複数回答可）
A　中国語　　B　ポルトガル語　　C　タガログ（フィリピン）語
D　英　語　　E　韓国語　　F　その他（　　語）
②　特に感じない。

11　有料の医療通訳制度があったら利用しますか？

①　利用する。

→１回当たりいくらが適当だと思いますか。

Ａ　１,０００円　　Ｂ　２,０００円　　Ｃ　３,０００円以上

②　利用しない。

③　その他（　　）

12　医療通訳の制度化に関して、医療機関・患者・医療通訳間のコーディネートを担うのは、どこが適当だと考えますか？

①　県　　②　市町　　③　医療機関　　④　民間団体（NPO ／ NGO）

⑤　福井県国際交流協会　　⑥　新たに専門の機関を設立し、そこが担う。

⑦　その他（　　）

そ の 他

13　職員に対して外国語研修や外国人患者の対応に関する研修を行っていますか？

①　行っている。　　②　行っていない。　　③　機会があれば行いたい。

14　福井県の「医療情報ネットふくい」という、地域・対応診療科目・対応言語別で病院を検索することができる日本語と英語のサイトを知っていますか？

①　知っている。　　②　知らない。

15　外国人患者の受け入れについて、日ごろ感じることをお書きください（自由意見）。

16　特に困っていることがありましたら、お書きください（自由意見）。

ふりがな付きやさしい日本語

（在住外国人対象）

外国人医療のためのアンケートのお願い

このアンケートは、福井県内に住んでいる外国人の皆さんが、病気やケガをして、病院・診療所に行った時に、困ったことや、不安だったことがないか、お聞きするものです。あなたが書いた内容は、外国人の皆さんが安心して病院に行けるようにするために使われます。

内容については、ほかのことには使いません。また、全部データにしますので、あなたのアンケートが公表されることはありません。答えたくない質問や、わからないことは、書かなくてもいいです。

このアンケートは、外国人医療支援検討委員会（事務局　財団法人福井県国際交流協会）が実施するものです。

【問い合わせ先】
財団法人　福井県国際交流協会
電話：0776-28-8800　　FAX：0776-28-8818
住所：　〒910-0004 福井市宝永３－１－１　福井県国際交流会館

以下の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。その他の場合は（　　）内に書いてください。

あなたのことについて

1　あなたはどの国から来ましたか？①～⑩以外の国の場合、⑪（　　）に出身国名を書いてください。

①　中国　②　ブラジル　③　フィリピン　④　韓国・朝鮮　⑤　タイ
⑥　ベトナム　⑦　ロシア　⑧　アメリカ　⑨　ペルー　⑩　インドネシア
⑪（　　）

2　どの市町に住んでいますか？　（　　）

3　あなたの性別は？　①　男　②　女

4　あなたは何歳ですか？　（　　）歳

5　あなたは日本に何年間住んでいますか？
①　～1年　②　1～3年　③　4～5年　④　6～10年　⑤　11年～

6　あなたの在留資格（ビザのしゅるい）は何ですか？
①　研修、特定活動、技能実習　②　永住者、定住者
③　日本人の配偶者等　④　留学、教育、教授　⑤　それ以外の在留資格

7　あなたの日本語能力はどれくらいですか？
①　話すこと：　できる。　だいたいできる。　少しできる。　できない。
②　聞くこと：　できる。　だいたいできる。　少しできる。　できない。
③　読むこと：　できる。　だいたいできる。　少しできる。　できない。
④　書くこと：　できる。　だいたいできる。　少しできる。　できない。

8　加入している保険は何ですか？
①　国民健康保険　②　社会保険・健康保険
③　外国人技能実習生保険　④　民間の医療保険（留学生保険含む）
⑤　日本の健康保険を知らないので、加入していない。
⑥　日本の健康保険を知っているが、加入していない。
⑦　わからない。

病院・診療所の情報について

9　病院・診療所について情報をどこから聞きますか？
①　市役所・町役場　②　国際交流協会等の相談窓口
③　あなたの国出身の友人・知人　④　日本人の友人・知人
⑤　インターネット（パソコン）　⑥　インターネット（けいたい）
⑦　その他（　　）

病気かなと思った時について

10　自分や家族･友人の体のぐあいや病気等について、医師に相談したいと思ったことはありますか？

①　ない。　②　ある。

11　病気になったときどうしますか？

①　できるだけがまんして、病院・診療所に行かない。

→それはなぜですか？　A　日本語が、できないから。

B　お金が、もったいないから。

C　健康保険に、入っていないから。

D　その他（　　）

②　友人・知人が、通っている病院・知っている病院へ行く。

③　あなたの国の言葉を、話せる病院・診療所へ行く。

④　通訳が、いる病院・診療所へ行く。

⑤　日本語が、できる家族・友人と、一緒に、病院・診療所へ行く。

⑥　家から近い病院・診療所へ行く。

⑦　その他（　　）

薬について

12　どのようにして薬を入手していますか？

①　病院・診療所で処方された薬

②　日本の薬局で市販薬を買っている。

③　あなたの国から薬を持参・取り寄せている。

→それはなぜですか？　（理由　　）

13　しつもん12で、①か②と答えた人にききます。お店の人に薬について説明をしてもらいましたか？

①　日本語で説明してもらった。　②　英語で説明してもらった。

③　中国語で説明してもらった。　④　ポルトガル語で説明してもらった。

⑤　説明してもらえなかった。　⑥　説明はいらなかった。

⑦　その他（　　）

病院に行ったとき

14　これまで、福井県で過去１年に何回、病院・診療所に行ったことがありますか？

①　行ったことがない。　②　１～４回　③　５～９回　④　10回以上　⑤20回以上

15　病院・診療所ではどこの国の言葉で話しましたか？

①　日本語のみ　②　あなたの国の言葉のみ　③　日本語とあなたの国の言葉

④　その他（　　）

16　病院・診療所に行ったとき一緒に行った人はいましたか？

①　１人で行った。

②　一緒に行った人がいた。

→それはどんな関係の人ですか？（複数回答可）

A　あなたの国の家族　　B　日本人の夫、または、妻

C　あなたの国の友人・知人　　D　日本人の友人・知人

E　仕事先で一緒に働いている人　　F　通訳者

G　その他（　　）

17　病院に行ったときに、特に困ったことや不安を感じたことは何ですか？ 下記から５コ選んで、番号を書いてください。 ⟶ □ □ □ □ □

①　病院を探す。　　②　問診票・入院様式等の書類の記入

③　医療のシステムの違い　　④　体のぐあいを説明する。

⑤　医療・看護師との会話　　⑥　薬の説明を聞く。

⑦　病院の中のあんない板　　⑧　入院時のきまりごと

⑨　入院時の食事　　⑩　同じ病室の患者との会話

⑪　文化・宗教のちがい

⑫　その他（　　）

18　医療サービスとして何を希望しますか？（３コまで）

①　有料の通訳

②　無料の通訳

③　あんない板を、いろんな国の言葉で書くこと

④　問診票や入院書類を、いろんな国の言葉で書くこと

⑤　ふりがなつきの問診票や入院書類

⑥　その他（　　）

病院でかかるお金について

19　病院でお金を払うときに困ったことはありますか？

①　困ったことはない。　　②　高くならないか心配だった。

③　高くて１回で払えなかった。　　④　請求書（病院でかかったお金）の内容がわからなかった。

⑤　払わないで帰った。

⑥　その他（　　）

病気になったときの通訳について

20　病気になったとき、通訳制度があったら利用しますか？

①　利用する。　②　利用しない。　③　わからない。

21　制度を利用するのに、１回当たり、いくらまで払いますか？

①　１，０００円　②　２，０００円　③　３，０００円以上

22　その他、病院・診療所に希望すること、特に困っていること、日本の病院の印象等、意見があれば、記入してください。（自由に書いてください）

英　語

(The questionnaire for foreign residents)

Please fill in the following questionnaire on medical care for local foreign residents.

This questionnaire asks foreign residents in Fukui Prefecture like you whether you have been in trouble or felt less secure during your visits to hospitals or clinics owing to illness or injury. The opinions obtained in this questionnaire will be used as reference data for making improvements to the medical treatment system.

Your answers will not be utilized for any purposes other than those for this survey. Nor will any of your answers be disclosed as all of the data obtained will be used for statistical processing. You do not have to answer to questions you feel you would rather not answer or the questions about which you are not able to answer.

This questionnaire is conducted by the Committee for Considering Support for Medical Care for Local Foreign Residents. (Head Office: Fukui International Association)

Your cooperation is greatly appreciated.

【For questions or inquiries】
Fukui International Association
〒910-0004 3-1-1 Hoei, Fukui City
Fukui International Activities Plaza
TEL: 0776-28-8800 FAX: 0776-28-8818

Please circle the number(s) which apply in the following questions. In case of "others", please specify your answer in the parenthesis.

The following questions will ask about yourself.

1) Which country are you from? If you are from the country other than 1 to 10 below, please fill in the name in 11.

1. China 2. Brazil 3. Philippines 4. Korea 5. Thailand 6. Vietnam
7. Russia 8. America 9. Peru 10. Indonesia 11. (_____)

2) Which city/town do you live in? _____ (City/Town)

3) Gender: 1. Male 2. Female

4) Age: _____ years old

5) How long have you lived in Japan?

1. less than 1 year 2. 1 to 3 years 3. 4 to 5 years 4. 6 to 10 years 5. over 10 years

6) What is your present residence status?

1. Trainee, Designated Activities, and Technical Intern Training
2. Permanent Resident/Long Term Resident 3. Spouse or child of Japanese nationals
4. College Students, Instructor, Professor 5. Other than those listed above

7) Would you rate your Japanese language proficiency?

Speaking:	I'm fluent	I can get by	I know a little	I'm lost
Listening:	I'm fluent	I can get by	I know a little	I'm lost
Reading:	I'm fluent	I can get by	I know a little	I'm lost
Writing:	I'm fluent	I can get by	I know a little	I'm lost

8) What insurance do you carry?

1. national health insurance (kokumin kenko hoken)
2. social insurance / health insurance (shakai hoken/kenko hoken)
3. technical intern trainee insurance
4. private medical insurance (including foreign student insurance)
5. I don't carry any insurance because I am not familiar with Japanese health insurance system.
6. I don't carry any insurance, although I know about Japanese health insurance system.
7. I have no idea.

The following questions will ask about accessing information on hospitals and clinics.

9) Where do you get information on hospitals and clinics from?

1. city hall / town office
2. inquiry counter of International Association etc
3. your friends or acquaintances from your country as you are
4. your Japanese friends or acquaintances
5. Internet (through your personal computer)
6. Internet (through your cell phone)
7. others (_____)

The following questions will ask about what you do when you feel sick.

10) Have you ever wanted to consult a doctor about the health condition, disease, etc of yourself, your family and your friends in Japan? 1. No 2. Yes

11) What will you do when you feel sick or unwell?

1. I exercise patience as much as possible and refrain from visiting hospitals or clinics.

   *If so, why do you do so? → A. Because I can't speak Japanese.

   B. Because I want to save money.

   C. Because I don't carry health insurance.

   D. others (_____)

2. I visit the hospital that my friends/acquaintances go to.
3. I visit the hospital or the clinic where they understand my native language.
4. I visit the hospital or the clinic that has an interpreter it.
5. I visit a hospital or the clinic with a family member or friend who can speak Japanese.
6. I visit a hospital or a clinic close to my home.
7. others (_____)

The following questions will ask about medicine.

12) How do you get your medicine?

1. I get medicine prescribed at a hospital or a clinic.
2. I buy OTC (over- the-counter) medicine at pharmacies.
3. I bring medicine with me or have it sent to me from my home country.

   * We'd like to ask those who circled No. 3. Why you do so?

   → (Because _____)

13) This is the question for those who have bought medicine at Japanese pharmacies.
Did you receive an explanation about your medicine from the store staff on most recent visit?

1. I received an explanation in Japanese.
2. I received an explanation in English.
3. I received an explanation in Chinese.
4. I received an explanation in Portuguese.
5. I could not receive any explanation.
6. I did not ask for explanation.
7. others (_____)

The following questions will ask about visiting hospitals or clinics in Fukui prefecture.

14) How many times have you visited hospitals or clinics in Fukui during the past one year?

1. Never 2. Once to 4 times 3. 5 to 9 times 4. over 10 times 5. over 20 times

15) In what language did you speak at the hospital(s) or clinic(s) you visited?

1. only in Japanese 2. only in my native language
3. Both in Japanese and my native language 4. others (_____)

16) Did someone go with you when you visited a hospital or a clinic?

1. I went alone.
2. I went with someone else.

   → What is your relationship with him or her? (Circle all that apply.)

   A. your family from your own country B. your Japanese spouse

   C. your friend or acquaintance from your own country

   D. your Japanese friend or acquaintance E. someone at your office

   F. interpreter

   G. others (_____)

17) What particularly troubled you or made you feel uneasy when you visited a hospital or a clinic? Choose up to 5 items described below and fill in those numbers in the squares below.

→ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

1. how to find an appropriate medical institution
2. how to fill in hospitals or clinic documents such as interview sheet, document describing hospitalization procedures, etc
3. differences of medical care system
4. explanation of symptoms
5. conversation with the doctor or nurse
6. understanding the description of medicine and prescription
7. display written in Japanese inside the hospital or clinic
8. rules and regulations in time of hospitalization
9. meals during hospitalization
10. conversation with other patients in the same ward
11. consideration for cultural and religious differences
12. others (_____)

18) What do you desire for the medical care services? (Circle up to 3 items.)

1. paid interpretation service
2. charge-free interpreter service
3. increasing the number of languages used for display inside the hospitals or clinics.
4. increasing the number of languages used for interview sheet, document describing hospitalization procedures, etc
5. interview sheet, document describing hospitalization procedures, etc with hiragana added on each sentence
6. others (_____)

The following questions will ask about medical expenses.

19) Have you ever had any difficulty paying doctor's bill? (Circle all that apply.)

1. No, I haven't.
2. I have been worried whether the amount is higher than I expected.
3. The amount was too high for me to pay at one time.
4. I could not understand what was written in the bill.
5. After consulting the doctor, I found the doctor's bill too expensive for me to pay.
6. So, I left the hospital or clinic without paying the bill at all.
7. others ( )

The following questions will ask about medical care interpreter system.

20) If medical care interpreter system would made available, will you make use of it?

1. Yes, I would. 2. No, I wouldn't. 3. I am not sure.

21) If you made use of medical care interpreter system, how much could you willing to pay at a maximum per each visit to a medical institution?

1. 1,000 yen 2. 2,000 yen 3. over 3,000 yen

22) Should you have any other opinions, desires, specific trouble you went through about hospitals or clinics or general impressions about Japanese hospitals, medical care systems etc, please feel free to fill in.

中国語

（以外国居留者为对象）

有关外国人医疗的问卷调查

在福井县内居住的各位外国人士，当您生病或受伤需要去医院、诊所就诊看病时，是否感到困惑或不安？为了研究如何使各位安心地就诊看病，我们进行这一问卷调查，谢谢您提供宝贵的意见。

您的答卷仅用于调查之目的，内容只用于整体的统计，对单独问卷不会予以公开。如有不便回答的问题或不明之处，可以不写。

该问卷调查由外国人医疗支援研究委员会（事务局设在 财团法人 福井县国际交流协会内）所实施。

【问询】
财团法人 福井县国际交流协会

电话： 0776-28-8800 传真： 0776-28-8818

地址： 〒910-0004 福井市宝永 3 丁目 1-1 福井县国际交流会馆

请在以下提问中，用〇符号选择适当的答案号，其他可填写在（　　）内。

关于您本人

1　您的出生国是哪里？　①～⑩以外的国家，请在⑪（　　）内填入国名。

①　中国　②　巴西　③　菲律宾　④　韩国、朝鲜　⑤　泰国

⑥　越南　⑦　俄罗斯　⑧　美国　⑨　秘鲁　⑩　印度尼西亚

⑪（　　）

2　您住在哪个市、町？ _____

3　您的性别？　①　男　②　女

4　您的年龄？_____岁

5　您在日本住了多少年？

①　～１年　②　１年～３年　③　４年～５年　④　６年～１０年　⑤　１０年～

6　您的在留资格是什么？

①　研修、特定活动、技能实习　②　永住者、定住者

③　日本人的配偶等　④　留学、教育、教授　⑤　其他在留资格

7　您的日语能力如何？

①　会话：　会　基本会　会一点　不会

②　听力：　会　基本会　会一点　不会

③　阅读：　会　基本会　会一点　不会

④　写作：　会　基本会　会一点　不会

8　您加入了何种保险？

①　国民健康保险　②　社会保险、健康保险

③　外国人技能实习生保险　④　民间医疗保险（包括留学生保险）

⑤　对日本的健康保险不了解，没有加入。

⑥　对日本的健康保险是了解的，但没有加入。

⑦　不知道。

有关医院、诊所的信息来源

9　如何得知医院、诊所的信息？

①　市役所、 町役所　②　国际交流协会等咨询窗口

③　本国的友人、熟人　④　日本友人、熟人

⑤　英特网（电脑）　⑥　英特网（手机）

⑦　其他（　　）

觉得可能生病了的时候

１０　在家人、朋友或自己担心自己的健康状况或生病时，是否想到要向医生咨询？

①　没有　②　有

１１　生了病怎么办？

①　尽量扛着不去医院、诊所看病。

→为什么要这样？　A　因为不会日语。

B　因为不愿花钱。

C　因为没有加入保险。

D　其他（　　）

②　去友人、熟人常去的医院。

③　去能讲母语的医院、诊所。

④　去配有翻译的医院、诊所。

⑤　和会日语的家人、友人一起去。

⑥　去就近的医院、诊所。

⑦　其他（　　）

关于药品

１２　通过何种渠道得到药品？

①　医院、诊所的处方。

②　在日本药店买常用药。

③　从本国带来或寄来。

→为什么这样做？

（理由　　）

１３　在日本药店买过药的人请回答，店员是否给您作了药品说明？

①　用日语说明了。　②　用英语说明了。

③　用汉语说明了。　④　用葡萄牙语说明了。

⑤　没有作说明。　⑥　没有要求店员作说明。

⑦　其他（　　）

有关在福井县的就疹情况

１４　在过去的一年中，去福井县的医院、诊所看过几次病？

①　零次　②　１～４次　③　５～９次　④　１０次以上　⑤２０次以上

１５　在医院、诊所，是用哪种语言交谈的？

①只用日语　②只用母语　③日语和母语　④　其他（　　）

１６　有谁和您一起去医院、诊所的?

①　一个人去的。

②　和其他人一起去的。

→　和一起去的人的关系？（可选多项）

A　本国的家人　B　日本配偶

C　本国的友人、熟人　D　日本的友人、熟人

E　工作单位的人、同事　F　翻译

G　其他（　　）

１７　就诊时特别感到困惑或不安的是什么？请选 5 项，将该项号码写在下面方框内。

→ □ □ □ □ □

①　找医院。　②　填写病情调查表、住院表格等。
③　医疗制度的不同。　④　症状说明。
⑤　和医生、护士的会话。　⑥　听药品说明。
⑦　医院内的标识。　⑧　住院规则。
⑨　住院时的就餐。　⑩　和同一病房患者的会话。
⑪　对文化、宗教上的考虑不周。
⑫　其他（　　）

１８　对医疗服务有何要求？（限选 3 项）

①　收费翻译。
②　免费翻译。
③　医院内的标识多语种化。
④　病情调查表、住院表格等多语种化。
⑤　病情调查表、住院表格等注上五十音字母。
⑥　其他（　　）

关于医疗费

１９　支付医疗费时曾有过困惑吗？

①　没有。　②　曾担心是否会太贵。
③　费用太高而不能一次付清。　④　账单内容看不明白。
⑤　没付账就走了。
⑥　其他（　　）

关于医疗翻译制度

２０　如有医疗翻译制度，是否利用？

①　利用　②　不利用　③　不知道

２１　如利用医疗翻译制度，一次最多可以支付多少费用？

①　1,000 日元　②　2,000 日元　③　3,000 日元以上

２２　此外，如有对医院、诊所有何要求，有何特别困难之处以及对日本医院有何印象，等々，都可写上。

ポルトガル語

Enquete alva para estrangeiros residentes

Solicitamos colaboração com

“Enquete relativo Assistência Médica dos Estrangeiros”

O objetivo deste enquête é para saber se os estrangeiros residentes já tiveram problemas ou se sentiram inseguras quando foram ao hospital ou numa clínica por doença, lesão etc. A sua opinião será útil para ser aplicado nos estudos relativo a assitência médica dos estrangeiros para que os estrangeiros possam fazer uma consulta tranquila.

As respostas obtidas, serão totalizadas e utilizadas somente para objetivo desta pesquisa. Por tanto a sua resposta não será divulgada publicamente. As questões indesejáveis ou se houver dúvidas não há necessidade de respode-lo.

O enquete é elaborado pela Secretaria do Comité de Assistência Médica dos Estrangeiros (Fundação Associação Internacional de Fukui).

“Informação”

Associação Internmacional de Fukui

Tel : 0776-28-8800 **Fax :** 0776-28-8818

Endereço : 〒910-0004 Fukui-shi Hôei 3-1-1

No questionário abaixo, circule o número que corresponder com sua resposta. Caso não haja, escreva sua resposta dentro dos parenteses (　　)

Relativo a sí próprio

1　Qual é o seu país de origem (Terra natal)?
Os países não inclusos nos ítens de ① à ⑩, escreva o nome do seu país dentro do espaço ⑪

① China　② Brasil　③ Filipinas　④ Coréia　⑤ Tailândia　⑥ Vietnã
⑦ Rússia　⑧ Estados Unidos　⑨ Peru　⑩ Indonésia　⑪ (　　)

2　Qual é a cidade, vila ou bairro que você reside?　_____

3　Sexo　① masculine　② feminino

4　Sua idade atual?　_____anos

5　Há quanto tempo o você reside no Japão ?

① menos de 1 ano　② 1 ano a 3 anos　③ 4 a 5 anos　④ 6 a 10 anos　⑤ mais de 10anos

6　Qual é a qualificação do seu status(de permanência)?

① estagiário, atividades específicas, trainess de qualificação técnico especializada
② residente permanente(*eijusha*), residente de longa duração(*teijusha*)
③ conjûge de japonês(japonesa) etc.
④ estudante estrangeiro, ensino pedagógico, professor catedrático ou académicos
⑤ outras qualificações de permanência

7　Qual é o seu nível de conhecimento de língua japonesa?

① Capacidade de conversação :
consigo conversar,　mais ou menos,　pouco,　não consegue conversar
② Capacidade de audição :
consigo entender,　mais ou menos,　pouco,　não consegue entender
③ Capacidade de ler :
sei ler,　mais ou menos,　pouco,　não lê
④ Capacidade de escrever :
sei escrever,　escreve mais ou menos,　escreve pouco,　não escreve

8　Qual é o tipo do seguro o qual está cadastrado(a)?

① Seguro Nacional de Saúde(*kenkô kokumin hoken*)
② Seguro de Saúde Social(*shakai hoken*)
③ Seguro dos estagiários estrangeiros de qualificação técnico especilaizada(*gaikokujin gino jishusei hoken*)
④ Seguro de Assistencia Médica da Empresa Privada(inclui Seguro de Estudantes Estrangeiros)
⑤ Não me inscreví por não ter conhecimento do Seguro de Saúde Japonesa
⑥ Tenho conhecimento do Seguro de Saúde do Japonesa más não se inscreveu
⑦ Não entendo

Relativo à obtenção de informações sobre Hospitais e Consultórios Médicos

9　De onde você obtém imformações sobre hospitais e consultórios médicos?

① Prefeitura Municipal　② no balcão da Associação Internacional de Fukui e etc.
③ amigos conterraneos　④ amigos japoneses
⑤ internet (computador)　⑥ internet (celular)
⑦ outros (　　)

Como vai se proceder se ficar doente

10　Sobre, doença e estado de saúde seu, ou família ou de amigos, alguma vez você já pensou em consultar um médico?　① Não　② Sim

11　O que você faz quando adoece?

① Aguento o possível, e deixo de ir ao hospital ou clínica

→Por quê ?

A- Por não falar japonês

B- Por não possuir dinheiro

C- Por não estar inscrito no Seguro de Saúde

D- outros motivos（　　）

② Procuro ir no hospital ou clínica onde meu amigo costuma ir

③ Procuro ir no hospital ou clínica que tem atendimento na língua do meu país

④ Procuro ir no hospital ou na clínica que tem intérprete

⑤ Procuro ir no hospital ou na clínica com minha família ou amigo que fala japonês

⑥ Procuro ir no hospital ou na clínica próximo de onde resido

⑦ outros（　　）

Relativo ao medicamentos

12　Como obtém os medicamentos?

① Medicamentos que são receitadas no hospitais ou clínicas

② Compro medicamentos que vendem nas farmácias japonesas

③ Trago ou encomendo remédio do seu país

→Por quê ?（motivo　　）

13　Perguntamos para aqueles que já adquiriram medicamentos na farmácia japonesa. Sobre o medicamento teve explicação da parte da farmácia?

① Explicaram em japonês　② Explicaram em inglês

③ Explicaram em chines　④ Explicaram em português

⑤ Não explicaram　⑥ Não pedí para explicar

⑦ outros（　　）

Relativo consulta médica em Fukui

14　Em Fukui, nestes últimos anos, quantas vezes ao ano você tem feito consultas nos hospitais ou clínicas?

① nem uma vez　② 1 a 4 vezes　③ 5 a 9 vezes

④ 10 a 19 vezes　⑤ mais de 20 vezes

15　Qual idioma foi usada no hospital ou na clínica?

① somente japonês　② somente língua materna

③ japonês e língua materna　④ outros（　　）

16　Quando você teve que ir no hospital ou na clínica, foi acompanhado(a)?

① Fui sozinho(a)

② Fui acompanhado(a)

→ A pessoa que ti acompanhou, qual é o relacionamento parentesco ?

(Pode escolher resposta multípla)

A- minha família que veio de mesmo país(conterraneo)

B- conjûge de japonês(japonesa)　C- amigos conterraneos

D- amigos do japão　E- colegas de trabalho

F- intérprete　G- outros（　　）

17 Para fazer consulta médica, qual foi o seu maior problema? Escolha 5 respostas mencionados abaixo e escreva os números. → ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

① procurar instituições médicas
② preencher folha de questionário médico e documentos para internação
③ diferença do sistema médico-hospitalar
④ explicação das sintomas
⑤ comunicação com médicos e enfermeiro(a)s
⑥ ouvir explicação dos medicamentos
⑦ indicações das placas do hospital
⑧ regulamentos internos durante a fase de internamento
⑨ refeição durante internamento
⑩ comunicação com paciente do mesmo quarto do hospital
⑪ problemas de consideração pela cultura e religião
⑫ outros ( )

18 Que tipo de serviço médico-hospitalar você deseja? (no máximo 3 respostas)

① intérprete pago
② intérprete gratuito
③ indicações das placas do hospital escrito em vários idiomas
④ folha de questionário médico e documentos para internação escrito em vários idiomas
⑤ folha de questionário médico e documentos para internação escrito em Hiragana
⑥ outros ( )

Relativo despesas médica

19 Já teve problemas no ato do pagamento da despesa médica?

① Nunca teve problemas
② Fiquei preocupado(a) que ficasse caro
③ Não conseguí pagar por ser valor alto
④ Não conseguí entender o conteúdo da fatura
⑤ Fui embora sem pagar
⑥ outros ( )

Relativo ao sistema íterpretes médica

20 Se tiver sistema de intérpretes médico-hospitalar voce utilizaria?

① utilizo ② não utilizo ③ não sei

21 Até quanto pagaria para utilizar o sistema de intérpretes médico-hospitalar?

① 1.000 ienes ② 2.000 ienes ③ mais de 3.000 ienes

22 Se tiver outras opiniões, ou tiver problemas específicos, ou se desejar algo relativo ao serviços hospitalares e clínicas escreva sua opinão livre neste espaço.

外国人医療支援検討委員会設置要綱

（目的）
第１条　福井県におけるよりよい外国人医療支援の方策を探るため、外国人医療支援検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）
第２条　委員会は、次に掲げる事務を行う。
（1）外国人医療に関するアンケート調査に関すること
（2）外国人医療に関する支援・施策の検討に関すること
（3）その他必要な事項

（組織）
第３条　委員会は、医療従事者、行政職員、住民、国際交流団体の職員等で組織する。

（委員長）
第４条　委員会に委員長１人を置く。
２　委員長は、委員の互選により定める。
３　委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

（会議）
第５条　委員会は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。
２　委員会は、必要があるときは委員以外の者に出席を求め、意見、その他必要な協力を求めることができる。

（事務局）
第６条　事務局を、財団法人　福井県国際交流協会に置く。

（その他）
第７条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は委員会において定める。

附　則
この要綱は平成２３年９月１６日から施行する。

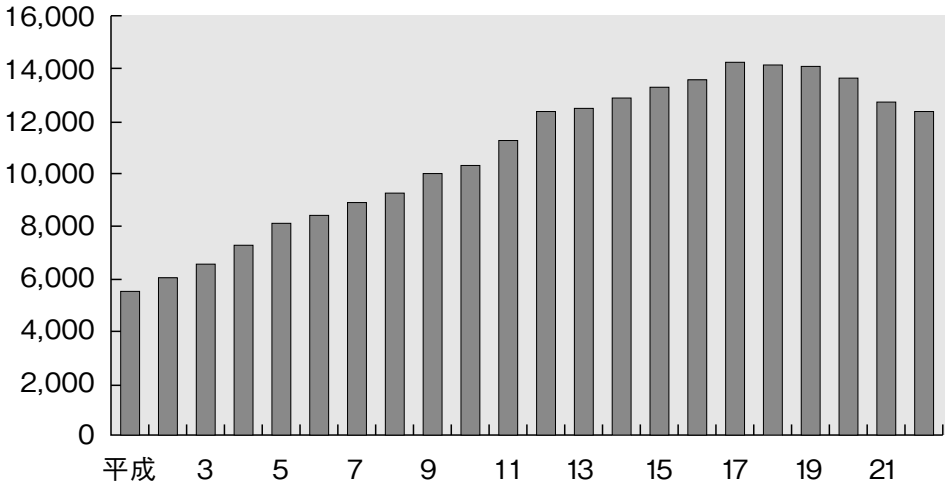
福井県に在住する外国人の状況（平成 22 年末現在）

（1）外国人登録者数の推移

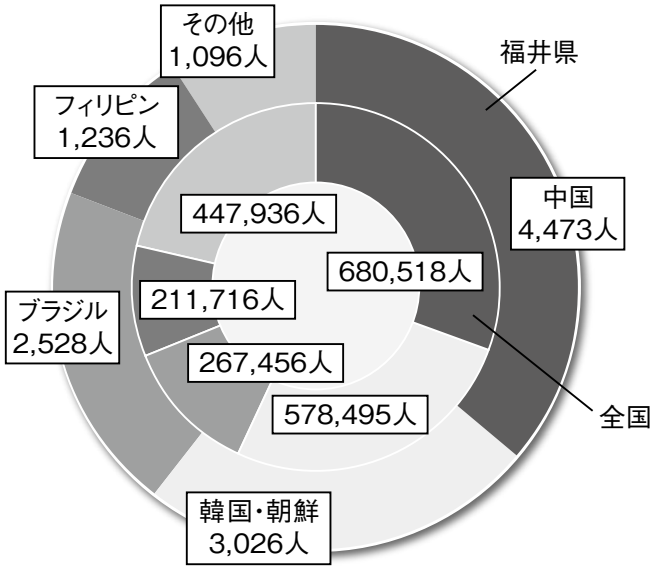
①外国人登録者の状況

	外国人登録者数（人）	10年前との比較
福井県（平成22年末）	12，359	1．00倍
全国（平成21年末）	2,186,121	1．40倍

②外国人登録者数の推移

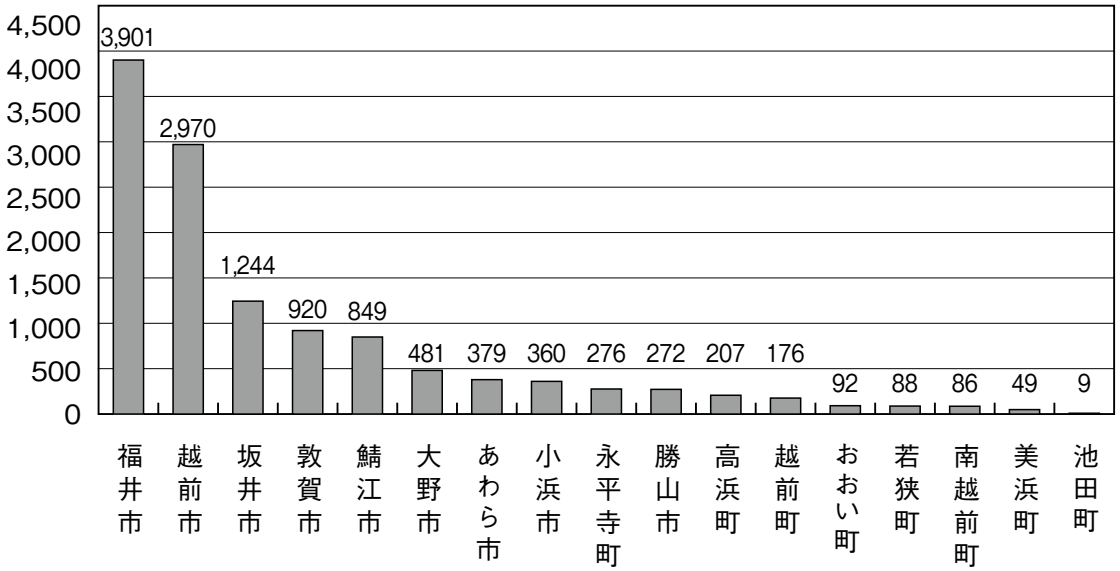


（2）外国人登録者数の国籍別構成



（※全国の値は平成21年末時点）

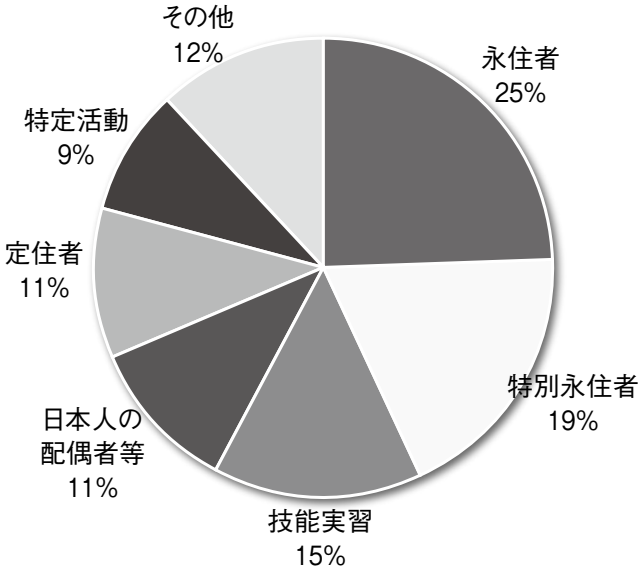
（３）市町別外国人登録者数



（４）外国人登録者の在留資格

福井県の外国人登録者の在留資格の内訳は、多い順から、永住者3,072人、特別永住者2,352人、技能実習1,917人、日本人の配偶者等1,306人、定住者1,167人、特定活動1,086人。

特別永住者は、前年比8．1％減で、年々減少傾向にあるが、永住者は年々増加傾向にあり、前年比10．4％増。



在留資格	主な国籍
永住者	ブラジル、フィリピン、中国、韓国又は朝鮮、タイ
特別永住者	韓国又は朝鮮、中国
技能実習	中国、ベトナム、インドネシア、フィリピン、タイ
日本人の配偶者等	ブラジル、フィリピン、韓国又は朝鮮、中国、
定住者	ブラジル、フィリピン、中国
特定活動	中国、ベトナム、フィリピン、インドネシア
その他	中国（留学、家族滞在）、マレーシア（留学）

※在留資格

外国人が日本で働いたり留学したり生活するために必要な法的資格で、出入国管理及び難民認定法により定められています。この資格がないと日本に滞在して活動することはできません。

資料編　4

福井県における外国人を取り巻く医療の現状等

（1）外国人医療の現状（県国際交流会館の相談窓口から）

＜在住外国人からの相談＞

- 外国語に対応した病院・薬局の情報はどのように調べますか。
- 外国語がわかる病院では外国語で支払いや保険負担分の説明をしてくれますか。
- インフルエンザの予防接種や病院の受付窓口で記入する問診票の意味がわかりませんが、サインしなければいけませんか。
- ケガをして薬をもらったが、薬の効用や副作用がわからなくて飲んでいない。
- 医療費の支払時にOKと言われ、全額を支払ったと思ったが、後日病院から請求書がきた。

＜医療機関が感じること＞

- 英語以外を母国語とする患者との会話が難しい。
- 説明に対してどこまで理解したのか確認が難しい。
- 日本の病院システムを理解してもらうのが難しい。

＜協会に寄せられた意見＞

- 通訳を頼む場合、友人、親族、会社の人に付き添ってもらうことが多く、十分な通訳をしてもらえなかったり、守秘義務が守られなかったりする。
- 県のホームページ「医療情報ネットふくい」の『Search by English』で、英語による医療情報提供を行っているが、外国語対応病院や薬局等の情報が正確でないところがある。また、この情報が周知されていない。

（2）医療機関における対応状況（一部のみ把握）

- 済生会病院では、週１回、総合窓口において、英語通訳がボランティア活動をしている。
- 赤十字病院では、外国人患者に対する病気や検査結果の説明、退院後の生活指導等において通訳が必要な場合、総務課を通じて、福井県国際交流協会へ中国語やポルトガル語の通訳紹介を依頼している。
- 大きな病院では、外国語表示の看板を作成している。

（3）通訳を介した場合の患者の様子（通訳者の意見）

- 外国人患者の質問に対する医師の説明がわかりやすくなったことから、患者が安心して治療を受けることができるようになった。
- 患者の不安がなくなり、表情が明るく、落ち着いた。
- 家族と患者双方が通訳を通じて正確な情報を聞くことができ、家族や患者への負担が軽減された。
- 時間厳守、病院の規則等外国人にとっては理解しにくいことがあっても、これまでの生活習慣や母国との制度の違いが通訳を通じて理解でき、治療に専念できるようになった。

福井県及び他県における医療支援の取り組み事例

（1）福井県における取り組み

実施主体	内容
福井県	○医療情報ネットふくい Search by English（2009 ～） 外国語に対応した病院、診療所、助産所、薬局について、インターネットホームページで検索ができる。エリア、診療曜日、対応言語、診療科を指定して検索ができる。言語：英語 URL：http://www.qq.pref.fukui.jp/qqport/kenmintop/
（財）福井県国際交流協会	○多言語ホームページ　FUKUI で暮らすために（福井県委託） 日本で生活するための情報を多言語で紹介したインターネットホームページ。病気･保険、病院にかかるときの心がけ、日本の医療費、外国語が話せる病院、医療保険、薬、予防接種、健康診断等について紹介。言語：英語、中国語、ポルトガル語、日本語 URL：http://info.pref.fukui.jp/kokusai/tagengo/html/top.html
	○携帯ホームページによる情報提供 緊急時の連絡先、土日祝日の当番医院、外国で対応可能な医院について、英語で掲載。エリア、対応言語で絞込みができる。 URL：http://f-i-a.or.jp/k/
	○指で話そう　災害・緊急時多言語ハンドブック（8 カ国語）（2008） 自然災害や事件・事故の時に落ち着いて行動できるよう、災害予備知識と想定される会話を Q&A にまとめたハンドブック。 医療関係として、体の具合が悪い時、気分が落ち込んだ時の症状を説明する会話、外国語診察が可能な大手病院の連絡先、県外の通訳サービス機関の連絡先を掲載している。 言語：英語、中国語、ポルトガル語、ハングル、フィリピン語、タイ語、ロシア語。各言語日本語対訳付。
	○外国人相談窓口の設置 福井県国際交流会館および福井県国際交流嶺南センターにおいて、在留手続き、生活情報、医療通訳相談等の各種相談を受け付けている。弁護士・行政書士とも連携して相談にあたっている。 言語：福井県国際交流会館…英語、中国語、ポルトガル語 福井県国際交流嶺南センター…英語
	○外国人ホットラインの設置（福井県委託） フリーダイヤルによる通訳付の電話相談（平成 23 年度で終了）。 中国語　０１２０－７８８－２９１ ポルトガル語　０１２０－２８８－２９１

資料編 4

（２）他県における取り組み事例（①県市町・医療機関）

取り組み事例	実施主体	内容
医療通訳の養成と派遣	神奈川県	神奈川県内の協定病院（32ヵ所）からの依頼により、医療通訳コーディネーターが最適な医療スタッフを派遣する。協定病院が交通費程度の謝礼を負担。 養成は、（特活）MIC かながわが、英語・スペイン語の医療通訳講座を開催し、医療スタッフとして認定。研修は、90 分× 10 回で、費用２万～ 2.5 万円程。
通訳ボランティアの募集・派遣	独立行政法人 大阪府立病院機構	大阪府立の５病院に対して、通訳ボランティアを派遣する。外国人患者が病院に対して派遣を依頼する。ボランティア謝礼 5,000 円。 言語：英語、中国語、台湾語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語等（全 14 言語）
医療機関に通訳ボランティアを配置	独立行政法人 りんくう総合医療センター	平成 18 年４月より国際外来を設置（言語：英語、ポルトガル語、スペイン語）。研修を受けた医療通訳ボランティアが、受付、診察、薬の説明、支払いまで付き添って通訳をする（無料）。 ボランティアは２種類。①医療通訳（診察を通訳できる。謝礼 2,000 ～ 5,000 円。）②認定外国人サポーター（受診手続き、検査の同行等のみ。交通費支給）。
医療通訳システムの構築	あいち医療通訳推進協議会 構成：愛知県、県医師会等の医療機関、県立大学、外国語大学等の学術機関、ＮＰＯ、外国人が多い市町等	あいち医療通訳システム（本格実施は24年度を予定）。 ①一定のレベル以上の医療通訳を派遣。通訳養成は、県内の大学と連携して実施、認定は県が行う。 ②曜日を問わず診療時間に対応した電話通訳 ③多言語問診票、指差し会話帳等の外国人対応のマニュアルを作成 言語：ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語
医療通訳の養成と派遣	京都市 協働：京都市、京都市国際交流協会、NPO 多文化共生センターきょうと、４協定病院	京都市内の指定の４病院に、医療通訳を無料で派遣する。ただし、外来診察限定。 言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語 指定の講座を受講後、１次試験として筆記試験、面接を実施。１次試験合格者を対象に、通訳ロールプレイ試験を行い、合格した人を医療通訳として派遣。
多言語資料の作成	群馬県医師会	「医療機関用外国人ハンドブック」の作成（群馬県委託）。診察申込、問診票、症状、入院･検査説明、請求、支払い等について記載。 言語：英語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語

（3）他県における取り組み事例（②国際交流協会・NPO・ボランティア等）

取り組み事例	実施主体	内容
通訳ボランティアの養成と派遣	（公財）三重県国際交流財団	通訳・翻訳パートナー制度。保健医療分野で支援する医療パートナーを養成し、派遣。 医療通訳ボランティア研修会を開催し、ボランティアを養成。（ポルトガル語・スペイン語の基礎講座、スキルアップ講座を開催）
	（公財）鳥取県国際交流協会	県内の病院、診療所、保健所等の医療・保健機関から要請に応じて、日本語に習熟していない外国出身の受診者との間に立って通訳を行う「医療通訳ボランティア」を派遣。言語：英語、中国語、タガログ語
医療従事者に対する研修	（公財）兵庫県国際交流協会	・講演会「外国人患者で困らないために－ことばと文化の壁をこえて」 ・ワークショップ「あなたの病院に“外国人”の患者さんが来ました」 ・現状報告会「当院の外国人患者の接遇～医療通訳サービスで何が変わったか」
	多文化共生センターひょうご	保健・医療職のための多文化共生セミナー（2006） ・パネルディスカッション「在住外国人と支援者が語る日本の保健医療ここが好き、ここが苦手！」 ・ワークショップ「こうすれば通じる！外国人と話すときの日本語のコツ」
多言語資料の作成	（公財）茨城県国際交流協会	メディカルハンドブックの作成。病院で医師とコミュニケーションを取るための手段として、体の部分とその症状、病名と、薬の飲み方・使い方等について日本語と外国語で表記したハンドブック。 言語:中国語、ポルトガル語、タガロク語、タイ語、スペイン語 その他に、外国人医療協力者リスト、茨城県内の外国語対応をしている病院の一覧表を作成。
	（公財）かながわ国際交流財団	多言語医療問診表の作成。19 言語に対応。インターネットでダウンロード可能。
IT 活用	多文化共生センターきょうと	「多言語医療問診システム M3（エムキューブ）」 自宅からインターネットで簡単に多言語問診ができるシステム。問診の内容をプリントアウトして病院に持っていったり、自分の携帯電話に内容を転送したりする機能がある。
無料相談会の開催	外国籍住民のための医療相談会実行委員会	新潟県内の医療関係者が、実行委員会を立ち上げ、ボランティアで実施。日本の医療制度、保険制度についての相談や健康に関する医療相談、尿・X 線検査に通訳ボランティアが付き添い、無料で相談・受診ができる。

資料編　5　福井県外国人登録人員調査表（市町別）（平成23年12月31日現在）

集計：福井県観光営業部観光振興課

アジア

市町	アフガニスタン	イスラエル	イラク	イラン	インド	インドネシア	韓国又は朝鮮	カンボジア	シリア	シンガポール	スリランカ	タイ	中国	トルコ	ネパール	パキスタン	バングラデシュ	フィリピン	ベトナム	マレーシア	ミャンマー	モルディブ	モンゴル	ラオス
福井市	9	1	1	3	2	52	1,017	1	1	–	5	108	1,539	1	7	5	17	378	107	42	1	1	7	3
敦賀市	–	1	–	–	–	3	596	–	–	–	–	4	97	–	–	–	–	111	3	3	–		1	–
小浜市	–	–	–	–	–	2	87	–	–	–	–	1	95	–	–	–	–	131	1	–	–		–	–
大野市	–	–	–	–	–	3	127	–	–	–	–	1	226	–	–	–	–	52	–	1	–		–	–
勝山市	–	–	–	–	–	4	46	–	–	–	–	4	171	–	–	–	–	20	–	–	1		–	–
鯖江市	–	–	–	–	1	9	241	1	–	1	–	7	451	–	–	2	2	58	7	4	1		4	–
あわら市	–	–	–	–	16	–	69	–	–	–	–	7	132	–	–	–	–	21	–	–	–		–	–
越前市	–	–	–	4	–	2	119	–	–	1	–	31	565	–	–	–	–	213	3	1	1		–	–
坂井市	–	–	–	–	–	4	426	–	–	–	–	19	665	–	–	–	1	37	22	–	–		2	–
市計	9	2	1	7	19	79	2,728	2	1	2	5	182	3,941	1	7	7	20	1,021	143	51	4	1	14	3
永平寺町	–	–		–	–	–	80	–	–	–	–	2	143	–	–	–	–	7	7	–	–		1	–
池田町	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	1	–	–	–		–	–
南越前町	–	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	1	27	–	–	–	–	10	–	–	–		–	–
越前町	–	–	–	–	–	11	20	–	–	–	–	2	98	–	–	–	–	6	5	1	–		–	–
美浜町	–	–	–	–	–	–	19	–	–	–	–	–	11	–	–	–	–	17	–	1	–		–	–
高浜町	–	–	–	–	–	–	48	–	–	–	–	–	7	–	–	1	–	124	2	–	–		–	–
おおい町	–	–	–	–	–	–	17	–	–	–	–	2	29	–	–	–	–	35	–	–	–		–	–
若狭町	–	–	–	–	–	1	16	–	–	–	–	1	22	1	–	–	–	28	2	1	–		–	–
町計	–	–	–	–	–	12	208	–	–	–	–	8	340	1	–	1	–	228	16	3	–	–	1	–
合計	9	2	1	7	19	91	2,936	2	1	2	5	190	4,281	2	7	8	20	1,249	159	54	4	1	15	3

ヨーロッパ

市町	アイルランド	イタリア	ウクライナ	ウズベキスタン	英国	オーストリア	オランダ	カザフスタン	スペイン	スロバキア	チェコ	ドイツ	ノルウェー	フィンランド	フランス	ブルガリア	ベラルーシ	ポーランド	ポルトガル	モルドヴァ	ルーマニア	ロシア
福井市	–	1	2	–	8	–	–	–	–	–	1	2	3	1	5	1	3	–	1	–	–	24
敦賀市	–	–	3	–	3	–	1	–	–	–	–	–	–	–	4	–	–	–	–	–	3	7
小浜市	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–
大野市	–	–	1	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
勝山市	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
鯖江市	1	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
あわら市	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	37
越前市	1	–	–	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	1	6
坂井市	–	–	–	–	4	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–	–	–	–	–	1	–	25
市計	3	1	6	–	18	1	1	1	–	2	1	5	3	2	10	1	3	3	1	1	4	101
永平寺町	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
池田町	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
南越前町	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
越前町	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	1	–	–	3
美浜町	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
高浜町	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
おおい町	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
若狭町	–	–	–	3	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
町計	–	1	–	3	1	–	–	–	1	–	–	1	–	–	1	–	–	–	1	–	–	4
合計	3	2	6	3	19	1	1	1	1	2	1	6	3	2	11	1	3	3	2	1	4	105

アフリカ

市町	アルジェリア	ウガンダ	エチオピア	セネガル	マダガスカル	南アフリカ共和国	リビア
福井市	1	1	–	1	2	3	
敦賀市	–	–	–	–	–	–	
小浜市	–	–	–	–	–	2	
大野市	–	–	–	–	–	5	
勝山市	–	–	–	–	–	–	
鯖江市	–	–	–	–	–	2	
あわら市	–	–	–	–	–	4	
越前市	–	–	1	–	–	–	
坂井市	–	–	–	–	–	–	
市計	1	1	1	1	2	16	–
永平寺町	–	–	–	–	–	–	1
池田町	–	–	–	–	–	–	
南越前町	–	–	–	–	–	–	
越前町	–	–	–	–	–	–	
美浜町	–	–	–	–	–	–	
高浜町	–	–	–	–	–	–	
おおい町	–	–	–	–	–	–	
若狭町	–	–	–	–	–	–	
町計	–	–	–	–	–	–	1
合計	1	1	1	1	2	16	1

北米

市町	米国	エルサルバドル	カナダ	キューバ	ジャマイカ	トリニダード・トバゴ	バルバドス	パナマ	メキシコ
福井市	54	–	21	2	2	3	–	–	1
敦賀市	7	–	1	–	–	–	–	1	–
小浜市	3	–	–	–	–	–	–	–	–
大野市	5	–	1	–	–	–	–	–	–
勝山市	2	–	–	–	–	–	–	–	–
鯖江市	9	–	–	–	1	–	–	–	–
あわら市	1	–	1	–	–	–	–	–	–
越前市	19	–	3	–	–	–	1	–	1
坂井市	11	–	2	–	–	–	–	–	–
市計	111	–	29	2	3	3	1	1	2
永平寺町	3	1	1	–	–	–	–	–	–
池田町	–	–	–	–	–	–	–	–	–
南越前町	–	–	–	–	–	–	–	–	–
越前町	3	–	–	–	–	–	–	–	–
美浜町	4	–	1	–	–	–	–	–	–
高浜町	1	–	2	–	–	–	–	–	–
おおい町	4	–	–	–	–	–	–	–	–
若狭町	3	–	–	–	–	–	–	–	–
町計	18	1	4	–	–	–	–	–	–
合計	129	1	33	2	3	3	1	1	2

南米・オセアニア・無国籍・合計

市町	アルゼンチン	コロンビア	チリ	パラグアイ	ブラジル	ペルー	オーストラリア（オセアニア）	ニュージーランド（オセアニア）	無国籍	合計
福井市	1	1	1	–	279	45	8	2	1	3,789
敦賀市	–	1	–	–	39	1	1	1	1	893
小浜市	–	–	–	–	3	1	–	–	–	332
大野市	–	–	–	–	26	–	–	–	–	449
勝山市	–	–	–	–	2	–	–	–	–	252
鯖江市	–	–	–	–	34	–	–	–	–	838
あわら市	–	–	–	–	31	–	–	–	–	320
越前市	–	–	–	–	1,993	10	2	1	2	2,985
坂井市	–	–	–	1	53	3	–	–	–	1,278
市計	1	2	1	1	2,460	60	11	4	4	11,136
永平寺町	–	–	–	–	14	–	–	–	–	262
池田町	–	–	–	–	–	–	–	–	–	7
南越前町	–	–	–	–	15	13	1	–	–	73
越前町	–	–	–	–	14	–	1	–	–	166
美浜町	–	–	–	–	–	–	–	–	–	54
高浜町	–	–	–	–	9	9	–	–	–	203
おおい町	–	–	–	–	–	–	–	–	–	87
若狭町	–	–	–	–	3	–	–	–	–	82
町計	–	–	–	–	55	22	2	–	–	934
合計	1	2	1	1	2,515	82	13	4	4	12,070

※この調査表は、福井県観光営業部観光振興課のホームページからダウンロードできます。

福井県外国人登録人員調査表（在留資格別）（平成23年12月31日現在）

集計：福井県観光営業部観光振興課

アジア

	アフガニスタン	イスラエル	イラク	イラン	インド	インドネシア	韓国又は朝鮮	カンボジア	シリア	シンガポール	スリランカ	タイ	中国	トルコ	ネパール	パキスタン	バングラデシュ	フィリピン	ベトナム	マレーシア	ミャンマー	モルディブ	モンゴル	ラオス
外交	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
公用	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
教授	–	–	–	–	1	–	2	–	–	–	–	–	9	–	–	–	3	2	–	–	–	–	–	–
芸術	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
宗教	–	–	–	–	–	3	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–
報道	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
投資・経営	–	–	–	–	–	–	4	–	–	–	–	–	3	–	–	1	–	–	–	1	–	–	–	–
法律・会計業務	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
医療	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
研究	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–
教育	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
技術	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	44	–	–	–	–	6	1	1	–	–	–	–
人文知識・国際業務	–	1	–	–	–	–	7	1	–	–	1	2	66	1	–	1	1	1	–	1	–	–	–	–
企業内転勤	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4	–	–	–	–	7	–	–	–	–	–	–
興行	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	4	2	–	–	–	–	32	–	–	–	–	–	–
技能	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–	–	–	33	–	4	–	–	2	–	–	–	–	–	–
技能実習(1号イ)	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	7	36	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–
〃（1号ロ）	–	–	–	–	5	13	–	–	–	–	–	–	1,112	–	–	–	–	21	42	–	–	–	–	–
〃（2号イ）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	13	42	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
〃（2号ロ）	–	–	–	–	7	32	–	–	–	–	–	–	1,516	–	–	–	–	32	30	–	–	–	–	–
文化活動	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
短期滞在	–	–	–	1	–	–	4	–	–	–	–	–	19	–	–	–	–	24	–	1	–	–	–	–
留学	–	–	1	–	–	6	13	–	–	–	–	3	221	–	–	1	9	7	21	34	1	–	7	3
就学	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
研修	–	–	–	–	1	5	–	–	–	–	–	1	25	–	–	–	–	–	4	–	–	–	–	–
家族滞在	–	–	–	–	–	4	20	–	–	–	3	2	124	–	2	3	6	4	–	6	–	–	–	–
特定活動	–	–	–	–	–	2	4	–	1	–	–	–	48	–	–	–	–	2	3	–	–	–	–	–
永住者	7	1	–	4	2	11	281	1	–	1	1	108	625	1	1	–	1	641	24	7	–	–	1	–
特別永住者	–	–	–	–	–	–	2,386	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	4	–	–	–	–	–	–
日本人の配偶者等	–	–	–	2	2	10	151	–	–	1	–	35	233	–	–	1	–	258	11	2	1	1	5	–
永住者の配偶者等	–	–	–	–	–	–	7	–	–	–	–	2	20	–	–	–	–	14	1	–	1	–	–	–
定住者	2	–	–	–	–	4	48	–	–	–	–	11	86	–	–	1	–	178	20	–	–	–	1	–
無資格・その他	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	2	2	–	–	–	–	12	–	1	1	–	–	–
合計	9	2	1	7	19	91	2,936	2	1	2	5	190	4,281	2	7	8	20	1,249	159	54	4	1	15	3

ヨーロッパ

	アイルランド	イタリア	ウクライナ	ウズベキスタン	英国	オーストリア	オランダ	カザフスタン	スペイン	スロバキア	チェコ	ドイツ	ノルウェー	フィンランド	フランス	ブルガリア	ベラルーシ	ポーランド	ポルトガル	モルドヴァ	ルーマニア	ロシア
外交	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
公用	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
教授	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	1
芸術	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
宗教	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–
報道	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
投資・経営	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
法律・会計業務	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
医療	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
研究	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–
教育	3	–	–	–	6	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–
技術	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
人文知識・国際業務	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	7
企業内転勤	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
興行	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	24
技能	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
技能実習(1号イ)	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
〃（1号ロ）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
〃（2号イ）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
〃（2号ロ）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
文化活動	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	2	–	–	2	–	–	–	–
短期滞在	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–	14
留学	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–
就学	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
研修	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
家族滞在	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	7
特定活動	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–
永住者	–	1	2	–	9	–	–	–	–	2	–	2	–	–	2	–	–	–	1	1	3	32
特別永住者	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
日本人の配偶者等	–	1	1	2	1	–	–	1	1	–	–	1	–	–	2	–	–	1	1	–	1	8
永住者の配偶者等	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2
定住者	–	–	3	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	8
無資格・その他	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
合計	3	2	6	3	19	1	1	1	1	2	1	6	3	2	11	1	3	3	2	1	4	105

アフリカ・北米・南米・オセアニア

	アルジェリア	ウガンダ	エチオピア	セネガル	マダガスカル	南アフリカ共和国	リビア	米国	エルサルバドル	カナダ	キューバ	ジャマイカ	トリニダード・トバゴ	バルバドス	パナマ	メキシコ	アルゼンチン	コロンビア	チリ	パラグアイ	ブラジル	ペルー	オーストラリア	ニュージーランド	無国籍	合計
外交	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
公用	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
教授	–	–	–	–	–	1	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	27
芸術	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
宗教	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	13
報道	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
投資・経営	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	10
法律・会計業務	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
医療	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
研究	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2
教育	–	–	–	–	–	9	–	56	–	15	–	2	3	1	–	–	–	–	–	–	–	–	1	2	–	103
技術	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	55
人文知識・国際業務	–	–	–	–	–	2	–	16	–	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	118
企業内転勤	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	12
興行	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	63
技能	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	41
技能実習(1号イ)	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	45
〃（1号ロ）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1,193
〃（2号イ）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	55
〃（2号ロ）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1,617
文化活動	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	12
短期滞在	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	1	3	–	–	–	72
留学	–	1	–	–	–	–	1	2	1	–	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–	1	1	–	340
就学	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2
研修	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	2	–	–	–	–	39
家族滞在	–	–	–	–	2	4	–	5	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	195
特定活動	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	64
永住者	1	–	–	1	–	–	–	22	–	4	–	–	–	–	1	–	–	2	–	–	1,408	67	3	1	2	3,285
特別永住者	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2,392
日本人の配偶者等	–	–	1	–	–	–	–	17	–	5	1	–	–	–	–	1	–	–	1	1	269	3	4	–	–	1,037
永住者の配偶者等	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	25	1	–	–	–	73
定住者	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	798	5	–	–	2	1,172
無資格・その他	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	10	2	–	–	–	32
合計	1	1	1	1	2	16	1	129	1	33	2	3	3	1	1	2	1	2	1	1	2,515	82	13	4	4	12,070

※この調査表は、福井県観光営業部観光振興課のホームページからダウンロードできます。

福井県における外国人医療に関する報告書

● 編集・発行 ●

財団法人　福井県国際交流協会

〒910−0004　福井県福井市宝永３丁目１－１
福井県国際交流会館内
TEL 0776−28−8800
FAX 0776−28−8818
E-mail　info@f-i-a.or.jp